



今週のPOINT

国内株式市場

歴史的な暴落で市場は大混乱、日銀への疑心暗鬼から二番底への警戒残る

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

セーフィー【グロース 4375】ほか

テーマ別分析

権利取り季節到来の食品スーパーはディフェンシブ性も

話題のレポート

下落以上にリバウンドした銘柄は？

スクリーニング分析

市場が落ち着きを取り戻す中で好実態銘柄の押し目買いに注目

先週末後半にかけて市場は落ち着き取り戻す

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3
			新興市場	4
		米国株式市場		5
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6
2	マーケットを読む	今週のポイント		7
		日経平均株価		8
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	大林組〈1802〉プライム	9
			東宝〈9602〉プライム	10
			セーフィー〈4375〉グロース	11
			ディスコ〈6146〉プライム	12
			竹内製作所〈6432〉プライム	13
			NexTone〈7094〉グロース	14
			Macbee Planet〈7095〉プライム	15
			IDOM〈7599〉プライム	16
		読者の気になる銘柄	レーザーテック〈6920〉プライム	17
			資生堂〈4911〉プライム	17
		テクニカル妙味銘柄	出光興産〈5019〉プライム	18
			西武ホールディングス〈9024〉プライム	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19
		スクリーニング分析		20
		先週の話題レポート		21
		信用需給動向		22
5	連載コラム			
				23

歴史的な暴落で市場は大混乱、日銀への疑心暗鬼から二番底への警戒残る

■過去最大の下落幅と上昇幅を同時に記録する週に

先週の日経平均は週間で884.70円安(−2.46%)の35025.00円と下落。過去最大の下落幅と上昇幅を同時に記録する歴史的な週となり、週間値幅は4693.65円。8月5日の東京市場は、米国株の大幅下落や為替の急激な円高推移を受けて、ハイテク株など大型株の多くが売り気配スタートとなり、日経平均は下げ幅を一気に拡大。日経平均先物、TOPIX先物、グロース市場250指数先物でサーキットブレーカーが発動し、信用取引に絡んだ現物株の投げ売りが加速。為替市場では1ドル=141円台まで円高が急加速したことから日経平均は一時31156.12円まで暴落した。この日の終値は前週末比4451.28円安と、ブラックマンデー翌日(1987年10月20日)の下落幅3836.48円を超え、過去最大に。翌6日は急反発し、前日比3217.04円高と過去最大の上昇幅に。投資家の心理状態を示す日経平均VIは一時85.38まで急騰し、2020年3月のコロナショック時に記録した60.67を大幅に上回った。

7日に、内田眞一日本銀行副総裁が「金融資本市場が不安定な状況で、利上げをすることはない」と植田和男日銀総裁が残した「タカ派色」を打ち消したことで市場はやや落ち着きを取り戻した。ただ、決算発表がピークを迎えるなか、7月31日から8営業連続で一日の値幅は1000円を超えるなど指数中心の荒い地合いが続いた。

なお、7月第5週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は現物を5670億円売り越したほか、TOPIX先物を2147億円売り越し、225先物は2226億円売り越したことから、合計1兆43億円の売り越しとなった。一方、個人投資家は現物を4796億円買い越しなど合計で4609億円買い越し。なお、信託は現物を247億円と小幅買い越し。

■日銀に対する疑心暗鬼は残ったまま

8日の朝方、日銀が7月30日-31日に開催した金融政策決定会合の「主な意見」を発表した。主な意見では「2025年度後半の物価安定の目標実現を前提とすると、そこに向けて、政策金利を中立金利まで引き上げていくべき」「中立金利は最低でも1%程度とみているが、急ピッチの利上げを避けるためには、経済・物価の反応を確認しつつ、適時かつ段階的に利上げしていく必要がある」と記載があった。この発言主はわからないが、植田日銀総裁が記者会見で発したコメントとほぼ同じであるので、植田日銀総裁の可能性はある。

植田日銀総裁が7月31日の記者会見で残した「タカ派」姿勢は、7日の内田日銀副総裁によって、いったんは打ち消した格好だが、この主な意見を受けて、日銀は「ハト派」なのか「タ

カ派」なのか、市場の疑心暗鬼は残った。主な意見は7月30-31日の話なので、最新の内田日銀副総裁の発言が、今の日銀のスタンスと捉えられそうだが、株式市場、為替市場、金利市場はいずれも方向感を失ったままである。不透明感が解消されないことから、腰を据えた投資資金の流入は期待できそうにない状況だ。

■二番底への警戒残る

9日の米国株式市場は続伸。ダウ平均は前日比51.05ドル高(+0.13%)の39497.54ドル、ナスダックは同85.28ポイント高(+0.51%)の16745.30、S&P500は同24.85ポイント高(+0.47%)の5344.16で取引を終了した。大証ナイト・セッションの日経225先物は、通常取引終値比250円高の35300円で取引を終えたほか、為替は1ドル=146円台半ばと外部環境は徐々に落ち着きを取り戻している。日経平均は小康状態を迎えているが、1987年のブラックマンデー、2001年のITバブル崩壊、2008年のサブプライムショック、2020年のコロナショックといった歴史的な暴落時は、いずれも10営業日前後に二番底を付ける動きが見られた。ボラティリティが急上昇したことで上下に振れやすい地合いとなっていることから、想定以上に動く可能性は十分残っている。5日の10営業日前後は、機関投資家の多くがお盆休みに入っており商いが閑散している時期となる。5日の終値31458.42円、取引時間中の安値31156.12円を下回るような二番底には警戒しておきたい。

■14日に7月米CPI発表

今週は、国内では、13日に7月国内企業物価指数、15日に4-6月国内総生産(GDP、速報値)、6月鉱工業生産(確報値)16日に6月第3次産業活動指数などが予定されている。

海外では、13日に豪・4-6月賃金指数、英・4-6月ILO失業率、7月失業率、独・8月ZEW景況感指数、欧・8月ユーロ圏ZEW景況感指数、米・7月生産者物価指数(PPI)、14日にNZ・ニュージーランド準備銀行(中央銀行)が政策金利発表、英・7月消費者物価指数(CPI)、小売物価指数、PPI、欧・4-6月GDP(改定値)、6月鉱工業生産指数、米・7月CPI、週次原油在庫、15日に豪・7月雇用者数、失業率、中・7月鉱工業生産指数、小売売上高、英・4-6月GDP(速報値)、6月鉱工業生産指数、製造業生産高、貿易収支、米・週次新規失業保険申請件数、8月ニューヨーク連銀製造業景気指数、フィラデルフィア連銀景況指数、7月小売売上高、鉱工業生産指数、16日に英・7月小売売上高、米・7月住宅着工件数、8月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)などが予定されている。

先週はじめにかけ歴史的な暴落、主力処の決算発表でムード変えられるか

■二番底を探る動きには警戒か

今週の新興市場は、主力企業の決算発表が本格化を迎えるなか、主要指数は戻り一服となりそう。週足ベースでは長い下影（下ヒゲ）を残したが、日足ベースでは8月2日から5日に空けたマドを埋め切れていない。日経平均とほぼ同じ形状で、反発の弱さが意識されつつある。早い段階でマドを埋めて、反発を強めたいところだが、売買代金が1000億円を下回るなど参加者は限定的で地合いは悪いまま。米国市場や為替市場は落ち着きを取り戻しつつあるが、ダメージを負った投資家が多いことから、二番底を探る動きには警戒したいところだ。

■主力企業の決算発表が本格化

個別銘柄では、9日の引け後に決算を発表したインテグラル<5842>、ウェルスナビ<7342>、トライト<9164>、スカイマーク<9204>、ispace<9348>に関心が向かう。為替に関連した特別利益を計上したispaceはポジティブな反応が出そうだが、通期業績見通しの下方修正を発表したトライトは売り圧力が強まりそう。また、今週は、13日にアドベンチャー<6030>、14日にジーエヌアイグループ<2160>、フリー<4478>、JTOWER<4485>、弁護士ドットコム<6027>、ライフネット生命保険<7157>など時価総額が大きい主力処が決算を発表する。先行き不透明感から短期資金中心の売買となっているなか、決算発表の主力処がしっかりとした値動きを示せば、グロース市場の悪いムードも多少は払拭されよう。



景気減速懸念は後退、米国株の強さを試す展開に/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株は小幅下落。週間ベースの騰落率は、NY ダウが-0.60%、ナスダックは-0.18%、S&P500は-0.04%。週初は、日経平均が過去最大の下落幅を記録するなどアジア株急落の影響を受けて全面安の展開に。エヌビディアが100ドルを大きく割り込む急落となったが、翌日は日本株の急反発やキャピラーなど主力株の好決算などを受けて、売られ過ぎ感が先行し買戻し優勢の地合いとなった。景気減速懸念が強まるきっかけとなった週次新規失業保険申請件数が予想を下回ったことで安心感が先行。週末、連邦公開市場委員会(FOMC)投票権を有するバーキン・リッチモンド連銀総裁が「経済を判断する時間がある」と発言したほか、コリンズ・ボストン連銀総裁も「強い労働市場の中でインフレが鈍化すれば利下げも可能」と指摘したことで投資家心理は改善。フィラデルフィア半導体株指数(SOX 指数)が週次ベースで8%超上昇するなど先行き悲観論は大幅に後退した。

サラダレストランチェーン運営のスウィートグリーンは、四半期決算で通期見通しを上方修正したことで上昇。メディアのパラマウント・グローバルは、四半期決算で調整後の1株当たり利益が予想を上回り上昇した。ビデオゲームメーカーのテイクツー・インタラクティブ・ソフトウェアも、四半期決算で1株当たり利益が予想を上回ったことで上昇。ソフトウェア開発会社のパランティア・テクノロジーは、ソフトウェアメーカーのマイクロソフトと提携し、政府のクラウドやAI ツール結合させるオープンAI のGPT-4を含むソフトウェアを国防省、諜報機関へ売却する計画が明らかになったことから買いが先行した。スポーツ用品メーカーのアンダーアーマーは、四半期決算で業務再編計画が奏功し売上が予想を上回ったほか、見通し上方修正が好感されて上昇。製薬会社のイーライリリーは、糖尿病治療薬のマンジャロや肥満治療薬のゼップバウンドなどの売り上げが好調で通期収入予想を上方修正し上昇。ドーナツツ会社のクリスピー・クリームは、第2四半期決算の内容が警戒された程落ち込まなかったことで安心感が先行し買われた。一方、化粧品メーカーのe.l.f. ビューティーは、四半期決算で売上が予想を上回ったが、利益見通しが予想に達しなかったことから下落。ネットワーク機器メーカーのシスコシステムズは、今年2回目となる従業員削減計画が報じられたことから下落した。

■今週の見通し

今週の米国株は、7月末から8月上旬の下落に対する戻りを試す展開となりそうだ。エヌビディアが下落局面入りしたことなどから調整色を強めていたナスダックは200日移動平均線から反発している。S&P500は75日移動平均線手前まで値を戻しているほか、NY ダウは史上最高値からの下落率は5%ほどに留まっており、歴史的な暴落となった日本株と比べると米国株の強さは鮮明だ。9月FOMCでの0.5%利下げや臨時会合開催での利下げといった話は影を潜め、過度な悲観論は後退しつつある。とはいえ、投資家の恐怖心理を示すVIX指数は20.26と8月2日時点の水準まで低下したが、まだ節目の20を上回っている。ボラティリティが高い状況のため、腰を据えた投資資金の流入はまだ難しいだろう。米国株市場の投資家心理がより改善されるには、8月14日の7月消費者物価指数、15日の小売売上高の内容次第と考える。7月11日に発表された6月消費者物価指数をきっかけに、10年債利回りは低下し、為替市場では投機筋の円売りポジションの巻き戻しが加速した。市場予想と同程度のインフレが確認できれば過度な警戒感の後退につながるだろう。また、小売売上高において、景気を左右する個人消費の底堅さが確認できれば、景気減速懸念はいったん沈静化すると考える。7月末の株価水準まで値を戻しているウォルマートの決算発表も予定されていることから、今週は個人消費に注目だ。

経済指標では、13日に7月生産者物価指数、14日に7月消費者物価指数、週次原油在庫、15日に週次新規失業保険申請件数、8月ニューヨーク連銀製造業景気指数、フィラデルフィア連銀景況指数、7月小売売上高、鉱工業生産指数、16日に7月住宅着工件数、8月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)などが予定されている。

主要企業決算は、12日にバリック・ゴールド、パブメツド、13日にホームデポ、ブルーバード、14日にシスコシステムズ、クラウン・クラフツ、ストーン、15日にタペストリー、ウォルマート、アリババ・グループ、アプライド・マテリアルズなどが予定している。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

145.00 円 ~ 149.00 円

今週のドル・円は下げ渋りか。直近発表の米経済指標は弱さが目立つ。8月14日に発表される7月消費者物価コア指数（CPI）が市場予想を下回った場合、インフレ鈍化が鮮明になり、米連邦準備制度理事会（FRB）による大幅利下げへの思惑を後押ししよう。FRBは9月の連邦公開市場委員会（FOMC）で50bpの利下げを検討する可能性がある。15日の小売売上高は前月比で改善が予想されるものの、同時に発表されるフィラデルフィア連銀製造業景況指数は前回から悪化が見込まれ、景気減速懸念を強める材料になりやすい。

ただ、日米の株式相場が安定すればリスク回避の円買いは後退しよう。日本銀行による金融正常化への期待が後退すれば円売りも見込まれる。日銀副総裁のハト派的見解で早期利上げ観測は後退しており、現時点でリスク回避の米ドル売り・円買いが急速に拡大する可能性は低いとみられる。

【米・7月消費者物価コア指数（CPI）】（14日発表予定）

8月14日発表の米7月消費者物価コア指数（CPI）は前年比+3.2%と予想される。市場予想と一致、または下回り、7月のコアインフレ率が鈍化すれば9月の50bp利下げ観測が再び強まり、ドル売り・円買い要因になる可能性がある。

【米・7月小売売上高】（15日発表予定）

8月15日発表の米7月小売売上高は前月比+0.3%と、前回の横ばいから改善する見通し。個人消費の強さが顕著になれば景気減速懸念は一服し、ドル買いに振れやすい。

債券市場

債券先物予想レンジ

144.50 円 ~ 145.30 円

長期国債利回り予想レンジ

0.815 % ~ 0.915 %

■先週の動き

先週（8月5日-9日）の債券市場で長期債利回りは下落。週初は日経平均の大幅安を受けてリスク回避的な債券買いが急拡大したが、日経平均の急反発や為替相場の円安反転を受けて安全逃避的な債券買いは縮小した。8日に行われた30年国債入札が順調な結果となり、長期債などの買い安心感が広がった。超長期債利回りの低下が大きく、利回り曲線は平坦化が観測された。9日の取引では米国で景気懸念の緩和により米国株式が上昇し、長期金利は上昇したことで、売りが優勢になった。金融市場が落ち着きを取り戻しつつある中、中期債で日本銀行による利上げの織り込みを回復させる売りも観測された。

10年債利回りは0.854%近辺で取引を開始し、一時0.744%近辺まで低下したが、株価反発を受けて6日の取引で0.966%近辺まで反発。週後半は30年国債入札の良好な結果を受けて長期債利回りは上げ渋り、0.853%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物9月限は上昇。144円81銭で取引を開始し、8月5日の夜間取引で146円53銭まで買われたが、6日に144円30銭まで反落。ただ、週後半は超長期債に対する一定の需要が確認されたことから、7日に145円43銭まで反発。その後はやや上げ渋った

が、145円09銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（8月13日-16日）の債券市場では、長期金利はやや上昇する可能性がある。金融市場の混乱を受けてリスク回避の債券買いが強まり、利回り水準が大きく切り下がったため、過度な利回り低下の反動を警戒した売りが増える可能性がある。金融市場の安定化を受けて日本銀行は金融正常化を進めていく方針を示しており、市場が徐々に落ち着くことに伴い、長期金利に一定上昇圧力がかかるとみられる。なお、8月14日に行われる5年国債入札については、9月利上げ観測は後退しており、利回り水準は低下しているため、やや低調な結果となる可能性がある。

債券先物9月限は上げ渋りか。年内追加利上げ観測が大きく後退しない場合、長期債などの利回り水準は下げ止まる可能性が高い。10年債利回りが0.80%に接近する局面では利食い売りが増える可能性があり、債券先物は主に145円を挟んだ水準で推移し、やや上げ渋る状態が続く可能性がある。

機関投資家の夏季休暇入りや決算発表一巡で手掛かり難も緩やかな反発基調継続

先週の日経平均は続落。週初は前週末の下げ幅を大きく上回る史上最大の下げ幅を記録。翌日は一転して史上最大の上げ幅を記録するなど、非常にボラティリティの高まる相場展開となった。雇用統計を受けて米景気後退懸念が一段と高まったことが週初大幅安の背景、ドル円相場も一時145円を割り込んだ。ただ、株価下落は過剰反応との見方も強まる中、その後は日銀内田副総裁のハト派発言なども材料視される形となり、週後半にかけて市場は落ち着きを取り戻しつつある。米長期金利低下や株価下落で銀行や証券が業種別下落率上位、自動車や非鉄金属なども売り優勢。主力銘柄の株高で精密機器はしっかりだった。

個別では引き続き、本格化する決算発表が手掛かり材料となっている。決算がポジティブ視された銘柄としては、LINE ヤフー、JMDC、アバント、ぐるなび、日本製鋼所、長瀬産業、ニチアス、シグマックス、キッコーマン、ダイヘン、カカクコム、NISSHA、三菱重工、ニチレイ、レーザーテック、SANKYO、いすゞ、フジクラ、メック、エイチワン、ダイフク、三井海洋開発、ニッパツ、日本化学工業など。ソフトバンクGは高水準の自社株買い発表が下支えとなる。一方ネガティブ視されたのは、東京精密、日本光電、イリソ電子、味の素、ポーラオルビス、ダイキン、リコー、NTT データ、リコー、太陽誘電、SUMCO、資生堂、ニコン、TOWAなど。デサントは伊藤忠系、富士ソフトは米KKRによるTOB実施が発表されてTOB価格にサヤ寄せの動き。トレンドは週末に事業売却を検討との報道が伝わる。

今週は、13日にラクス、メルカリ、アシックス、14日に電通などが発表を予定しているが、国内主力銘柄の4-6月期決算発表は先週末でほぼ一巡する形になっており、今週は決算においては新興市場などの中小型株に関心が集中しよう。一方、海外では、15日にアプライドマテリアルズの発表が予定されており、最注目となりそう。ほか、ホームデポやウォルマートなど小売企業の決算も注目される。また、米インフレ指標の発表もあって主に海外要因が手掛かり材料としては中心となろう。米経済指標では、住宅関連の統計なども注目されてくる。ただ、いずれにせよ、機関投資家が夏休み休暇入りすることで、売買ボリュームは低下することになる。一方、株価急落直後とあって、俄かにネットトレーダーなどのリバウンドを狙った値幅取り合いなどは活発化する余地がありそうだ。

株式市場並びに、為替市場の波乱局面は通過したとみられ、当面は米利下げ期待などをけん引役とした株式相場の反転基調が継続する公算は大きい。半導体関連などを中心とした直近売られ過ぎ銘柄のリバウンドが注目される。ほか、為替の円高方向への修正が行われたことで、輸出関連株の第2四半期以降の業績は鈍化していく可能性も高く、全般的には輸出関連よりも内需関連に妙味が出そう。なお、来年に向けては日銀の追加利上げ観測が改めて盛り上がることになり、地銀株の大幅下落場面は押し目買いの妙味。来週初の民主党大会に向け大統領選の盛り上がりがあれば、トランプ関連などにも刺激材料となろう。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	上位セクター	騰落率（％）
3836	アバントグループ	1,718.0	40.70	3436	SUMCO	1,563.5	-26.87	精密機器	5.76
9749	富士ソフト	8,850.0	33.28	4911	資生堂	3,350.0	-25.70	その他 金融業	1.56
9438	エムティーアイ	999.0	27.91	7130	ヤマエグループホールディングス	1,544.0	-24.42	不動産業	0.95
6507	シンフォニア テクノロジー	3,580.0	26.64	3696	セレス	1,187.0	-21.86	サービス業	0.39
8136	サンリオ	3,622.0	25.98	3864	三菱製紙	506.0	-18.78	建設業	0.27
7552	ハビネット	3,710.0	24.04	5384	フジミインコーポレーテッド	2,374.0	-18.73	石油・石炭製品	0.03
8007	高島	1,101.0	21.39	7729	東京精密	7,060.0	-18.41	水産・農林業	-0.14
3673	ブロードリーフ	654.0	20.66	6908	イリソ電子工業	2,332.0	-18.32	下位セクター	騰落率（％）
5393	ニチアス	5,200.0	19.40	8584	ジャックス	3,715.0	-17.90	金属製品	-8.62
6920	レーザーテック	26,920.0	19.12	6420	フクシマガリレイ	5,000.0	-17.08	銀行業	-7.57
4092	日本化学工業	2,569.0	18.88	3676	デジタルハーツホールディングス	750.0	-16.76	証券業	-5.89
3103	ユニチカ	315.0	18.42	6976	太陽誘電	3,385.0	-16.75	輸送用機器	-4.65
3328	B E E N O S	2,610.0	17.99	9552	M & A 総研ホールディングス	2,269.0	-16.15	非鉄金属	-4.35
6785	鈴木	1,543.0	16.81	9090	A Z - C O M 丸ホールディングス	1,004.0	-15.84	食料品	-4.22
4704	トレンドマイクロ	7,742.0	16.63	7868	広済堂ホールディングス	427.0	-15.78	保険業	-3.96

株価回復が継続、25 日線乖離率は売られ過ぎを示唆

■1 日に 0.5 σ 相当の 1400 円程度の乱高下となる可能性に留意

先週（8 月 5-9 日）の日経平均株価は 4 週連続で下落した。1 週間の下げ幅は 884.70 円（前週 1757.71 円）だった。

東証と大阪取引所の投資部門別売買状況では、現物・先物合算で海外投資家は 7 月 5 週（7 月 29 日-8 月 2 日）、売り越しを継続し（1 兆 43 億円、前週は 1 兆 3580 億円）、現物も売り越しを継続した（5670 億円、前週は 5525 億円）。

先週の日経平均は週初 8 月 5 日に終値 4451.28 円安と史上最大の下げ幅を記録。同日ザラ場の 31156.12 円をボトムに下げ幅縮小に向かったが、週間ベースでは値を戻しきれなかった。

今週は 5 日安値からの株価回復の流れが続きそうだ。25 日移動平均線（38647.20 円）からの下方乖離率は 9 日終値で 9.82% と底値到達ラインとされる 8% を超えており、今週も 5 日の 20.38% を起点とする売られ過ぎ修正の継続が予想される。東証プライム市場の騰落レシオ（25 日ベース）は先週末 83.10%、RSI（14 日ベース）は 34.85% といずれも低水準にとどまっており、押し目買い優勢の地合いが予想される。

ボリンジャーバンドでは、5 日に -3σ を下回って底値到達を強

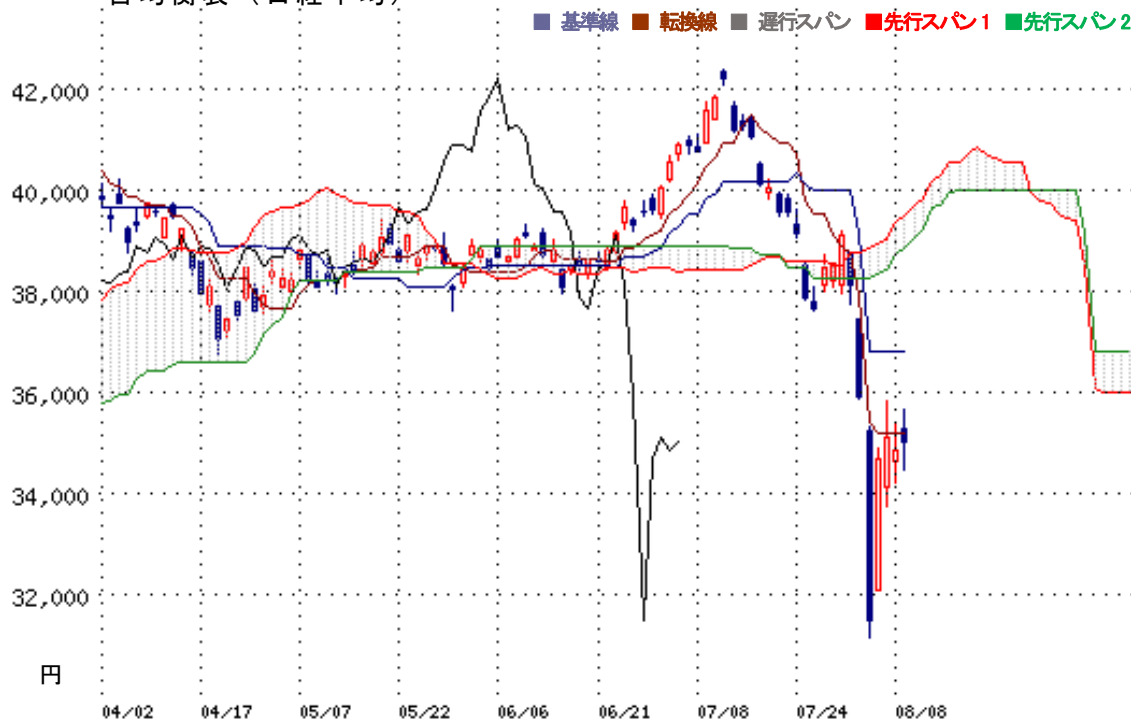
く示唆。翌 6 日は -2σ 上方に復帰して先週末は -1σ 直下まで上ヒゲを伸ばしており、株価は回復基調にある模様だ。先週末の 1 σ 相当の値幅は 2770.62 円と大きく、今週は 1 日に 0.5 σ 相当の 1400 円程度の乱高下となる可能性に留意したい。

先週末終値が 25 日線を上回る銘柄は日経平均採用 225 銘柄のうち 20 銘柄（先々週末 8 月 2 日は 14 銘柄）、東証プライム全上場銘柄では 10%（同 5%）と増加したが絶対水準は極端に低く、相場がボトム圏にあることを示唆している。

ただ、先週は下降中の 25 日線が 75 日線を下回るデッドクロスを形成して中長期的な下落局面入りを警告した。株価の 25 日線回復までは株価上昇が下落トレンド中の中間反騰に終わる可能性にも留意が必要となろう。

上値では、200 日線（先週末 36911.61 円）や直近マドの下端に相当する 2 日安値 35880.15 円が抵抗帯として意識され、その上では 1 日安値 37737.88 円から 38000 円が抵抗帯として作用しよう。下値では、5 日安値 31156.12 円までの下落であれば底値固めの範囲内と位置付けられよう。

一目均衡表（日経平均）



大林組〈1802〉プライム

第1四半期営業利益は前年同期比3.7倍

■建築工事の採算性が改善

8月6日に発表した25年3月期第1四半期(24年4-6月)業績は、売上高が前年同期比17.9%増の5747.06億円、営業利益は同3.7倍の153.72億円だった。国内外で大型工事が進んだほか、国内建築事業において手持ち工事の採算性が改善した。通期では、売上高が前期比7.9%増の2兆5100億円、営業利益は同17.2%増の930億円とする期首計画を据え置いている。

■国土強靱化への関心が高まる

宮城県・日向灘で8月8日に発生したマグニチュード7.1の地震を受けて、気象庁は初めて、南海トラフ地震臨時情報の「巨大地震注意」を発表した。南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられている。防災・減災等に資する国土強靱化への関心が

売買単位	100 株
8/9 終値	1888.0 円
目標株価	2140 円
業種	建設業

高まりやすく、建設業界へは注目が集まるだろう。株価は5日の急落で200日線水準まで下げたが、その後は同線を支持線としたリバウンドにより75日線を上回ってきた。目標株価はボリンジャーバンドの+2σ水準の2140円とする。

★リスク要因

人手不足や資材の高騰。

1802:日足

200日線からのリバウンドで75日線を突破。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連	1,766,893	-14.8%	123,161	128,784	-19.0%	98,780	137.64
2022/3連	1,922,884	8.8%	41,051	49,844	-61.3%	39,127	54.55
2023/3連	1,983,888	3.2%	93,800	100,802	102.2%	77,671	108.34
2024/3連	2,325,162	17.2%	79,381	91,515	-9.2%	75,059	104.69
2025/3連予	2,510,000	7.9%	93,000	98,000	7.1%	87,000	121.34

東宝〈9602〉プライム

“ヒロアカ”の劇場版公開による収益拡大に期待

■第1四半期は配給作品でヒット作が相次ぐ

7月16日に発表した25年2月期第1四半期(24年3-5月)業績は、営業利益が前年同期比34.1%増の245.76億円だった。映画事業において、アニメ映画『名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)』『劇場版ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦』など、配給作品でヒット作が相次いだ。また、8月2日公開の『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト』は、公開初日から3日間で、興行収入が約8.95億円を記録したと伝えられるなど好スタートを切った。通称“ヒロアカ”はコミックスシリーズ世界累計発行部数1億部突破という人気を博しており、劇場版公開による収益拡大が期待される。なお、北米では10月に公開される予定である。

■直近戻り高値を捉える

株価は5日の急落で25日、75日、200日線を割り込む場面も

売買単位	100 株
8/9 終値	5270 円
目標株価	5750 円
業種	情報・通信業

みられたが、その後は急ピッチのリバウンドで各移動平均線を上放れており、7月30日に付けた直近戻り高値の5432円に接近してきた。4月の年初来高値5558円が射程に入る。目標株価は高値更新からの一段高を想定し、昨年9月高値水準の5750円とする。

★リスク要因

ヒロアカに次ぐヒット作の不在。

9602:日足

25日、75日、200日線を上放れ。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/2連	191,948	-27.0%	22,447	24,195	-56.1%	14,688	82.54
2022/2連	228,367	19.0%	39,948	42,790	76.9%	29,568	167.24
2023/2連	244,295	7.0%	44,880	47,815	11.7%	33,430	190.37
2024/2連	283,347	16.0%	59,251	63,024	31.8%	45,283	259.51
2025/2連予	280,000	-1.2%	55,000	57,000	-9.6%	39,000	227.18

セーフィー〈4375〉グロース

防犯・省人化でニーズ強い、前倒しでの黒字化達成が目標

■クラウドカメラサービスでは業界シェアNo. 1

映像データを用いて様々な業界において現場DXを推進すべく、クラウド型映像プラットフォーム「Safe」の開発・運営を手掛けている。クラウドカメラサービスでは業界シェア No.1 を達成。24年12月期第1四半期(24年1-3月)は、売上高34.46億円(前年同期比36.5%増)、営業損失0.99億円(前年同期は1.82億円)と赤字幅縮小でのスタートとなった。従来機種より単価の高いAIカメラ「Safe One」の導入が好調で、防犯や安心安全、省人化ニーズは引き続き強い需要があるもよう。ARRは97.34億円(前年同期比26.1%)、課金カメラ台数は24.5万台(同25.6%増)とおおむね計画通りの着地となった。

■黒字化の前倒し達成を目標

第2四半期はスポット売上で下方変動する可能性があるため、調整後営業損失額は第1四半期に比べ拡大する見通しで、通期

売買単位	100 株
8/9 終値	718 円
目標株価	800 円
業種	情報・通信業

計画は据え置き。26年12月期には黒字化を見込んでいるが、前倒しでの達成を目標としている。5日の歴史的な暴落で同社株価も急落したが、75日線を下値支持として上昇基調へ。先週末には25日線に上値を阻まれた。まずは25日線を突破し、直近7月高値水準の800円を目標株価とする。

★リスク要因

競合との競争激化など。

4375: 日足

75日線を下値支持線に25日線突破を試す局面。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2020/12単	5,047	157.9%	-119	-97	-	-99	-
2021/12単	8,456	67.5%	-76	-153	-	-173	-
2022/12連	9,252	9.4%	-	-1,298	-	-1,434	-
2023/12連	11,817	27.7%	-1,091	-1,110	-	-1,438	-
2024/12連予	14,200	20.2%	-	-	-	-	-

ディスコ〈6146〉プライム

第1四半期出荷額は四半期として初の1000億円超を達成

■高付加価値案件増加で利益伸長

半導体や電子部品の製造工程で使われる精密加工装置と「砥石」など精密加工ツールなどを手掛ける。25年3月期第1四半期(24年4-6月)は、売上高827.99億円(前年同期比53.4%増)、営業利益は333.76億円(同96.7%増)と、それぞれ期初予想を上回った。検収の順調な進捗で出荷額が四半期で初めて1000億円を超え、また、高付加価値案件の増加などにより利益率が上昇した。製品別にみた売上高は、半導体ウェーハから半導体チップを切り出すダイサが全体の36%を占め、シリコンウェーハの表面を高精度に研削・研磨するグラインダが25%、精密加工ツールが25%となっている。

■上期営業利益は前年同期比46.6%増を見込む

同社は翌四半期までの業績予想を開示している。上期(24年4-9月)は、売上高1684億円(前年同期比33.4%増)、営業利益

売買単位	100 株
8/9 終値	41330 円
目標株価	53200 円
業種	機械

660億円(同46.6%増)を見込む。中間配当は1株あたり108円(前期は76円)としている。相場全体が波乱含みの中、同社の好業績も株価に十分には織り込まれていないと見られ、相場回復につれ好業績を映した株価形成となることが期待されよう。まずは、7月高値からの半値戻し水準となる53200円近辺を目標。

★リスク要因

円相場の動向や米景気の先行きなど。

6146:日足

早期の200日線回復に期待。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連	182,857	29.6%	53,106	53,629	40.0%	39,091	1,085.47
2022/3連	253,781	38.8%	91,513	92,449	72.4%	66,206	1,835.02
2023/3連	284,135	12.0%	110,413	112,338	21.5%	82,891	2,296.41
2024/3連	307,554	8.2%	121,490	122,393	9.0%	84,205	777.29
2025/3連予	-	-	-	-	-	-	-

竹内製作所〈6432〉プライム

小型建設機械が主力、海外売上高比率は 99%

■都市部の工事現場で活躍

ミニショベル、「小型のブルドーザー」と称されるクローラー（無限軌道式）ローダーなど小型建設機械を手掛ける。世界初のミニショベル／クローラーローダーで市場を開拓してきた。「小型」という特徴から、水道管・ガス管などの生活インフラ、住宅やビルなど都市部での工事現場で使われることが多い。地域別売上高では、北米向けが全体の 54% を占め、欧州向けが 42% と海外が中心で、日本向けは 1% となっている（24 年 2 月期）。ミニショベルのシェアは北米で 5 位、欧州で 2 位（同社調べ）。

■10営業利益は前年同期比30.2%増で着地

25 年 2 月期第 1 四半期（24 年 3-5 月）は、売上高 551.74 億円（前年同期比 4.0% 増）、営業利益 111.21 億円（同 30.2% 増）で着地。北米、欧州ともに、住宅ローン金利と住宅価格の高止まり等の影響があったが、北米で生活インフラ工事や建設投資などの

売買単位	100 株
8/9 終値	3995 円
目標株価	5000 円
業種	機械

非住宅関連の建設工事需要が伸びた。また、円安の影響や製品価格の値上げなどが収益寄与した。通期では、売上高 2240 億円（前期比 5.3% 増）、営業利益は 385 億円（同 9.1% 増）を計画。欧州は苦戦が予想されるが、北米は新工場による生産能力を活かし、販売増加を見込む。まずは 5000 円の大台回復が目標。

★リスク要因

米国の景気動向や円相場の過度な変動など。

6432: 日足

業績好調だが株価は昨年 4 月の安値水準まで下落。中期的な投資チャンスか。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/2連	112,254	-3.2%	13,207	13,298	7.2%	9,765	204.78
2022/2連	140,892	25.5%	17,764	18,080	36.0%	13,348	279.91
2023/2連	178,966	27.0%	21,221	21,379	18.2%	15,979	335.19
2024/2連	212,627	18.8%	35,296	35,455	65.8%	26,149	548.58
2025/2連予	224,000	5.3%	38,500	38,500	8.6%	27,500	576.91

NexTone 〈7094〉 グロース

国内の音楽著作権管理事業では JASRAC と実質 2 社寡占状態

■JASRACに対する唯一の民間企業

日本音楽著作権協会(JASRAC)に対抗する唯一の民間企業として、著作権管理事業などを展開している。24年3月期における著作権使用料徴収額は JASRAC が 1371.6 億円(市場シェア 92.2%)、同社が 115.5 億円(7.8%)と実質 2 社寡占状態。JASRACと比較して同社は、権利者との契約形態が委託契約となっており、権利者の意向を最大限取り入れた柔軟な管理ができることを強みとしている。中長期的には市場シェア 50%が目標。

■来々期のプライム市場上場を目標

25年3月期第1四半期(24年4-6月)は、売上高48.19億円(前年同期比2.2倍)、営業利益2.25億円(同4.9%増)とともに当初計画を上回って着地。昨年9月にレコチョクグループを連結子会社化したことが寄与し、大幅増収となった。株価は7月18日には全世界の YouTube 動画視聴や米国における著作権使用料直接

売買単位	100 株
8/9 終値	1600 円
目標株価	2000 円
業種	サービス業

徴収を開始したと発表した翌日に急騰。地合いの悪化で一旦売られたが、先週末には決算を好感した買いが集まり急反発している。27年3月期にプライム市場への上場市場変更を目標としており、基準充足に向けてさらなる業績拡大へ積極的に取り組むことが期待される。まずは大台 2000 円復活を目標株価としたい。

★リスク要因

音楽配信サービス需要の減退など。

7094: 日足

週末の急騰で 25 日線・75 日線・200 日線を一気に上放れ。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/3連	6,122	40.9%	539	540	83.1%	376	40.71
2022/3連	7,489	22.3%	708	713	32.0%	482	50.04
2023/3連	8,814	17.7%	840	841	18.0%	631	65.12
2024/3連	13,433	52.4%	657	661	-21.4%	531	54.68
2025/3連予	20,000	48.9%	1,000	1,000	51.3%	600	61.77

Macbee Planet 〈7095〉 プライム

LTV 予測を強みにマーケティング支援を展開、2 桁増収増益基調続く

■成果報酬型のマーケティング支援を行う

LTV(Life Time Value)予測を強みにマーケティング支援を展開している。LTV マーケティングとは、ユーザーの利用金額・継続期間を最大化し、広告費用効果を最適化するためにデータを駆使したデジタルマーケティング。同社は、現状のインターネット広告の無駄を最大限排除して成果に応じた費用で済むように、優良なオーディエンスを広告主の企業に送客することで成果報酬(単価×成果発生件数)を得ている。顧客層は、ファイナンス系の証券や生保、ウェルネス領域の医療が中心で、24 年 4 月期全社売上のうち上位 20 社が占める割合は 70%程度。

■中期的に売上・利益ともに年 20-30%成長を目標

24 年 4 月期は、売上高が前期比 2.0 倍の 394.05 億円、営業利益は同 69.7%増の 36.70 億円で着地した。All Ads の完全子会社化と事業会社 MAVEL の成長により業績が急拡大した。25 年 4 月期も 2 桁増収増益を見込む。同社は、中期的に売上・利益とも

売買単位	100 株
8/9 終値	2487 円
目標株価	3400 円
業種	サービス業

に年間 20-30%成長を目指している。M&A も成長手段として積極的に活用する方針。また、同社がマーケットリーダーとして市場をけん引しており、30 年には市場規模 10 兆円を見込む広告市場で 10% (1 兆円) が成果報酬型となる試算もある。業績の 2 ケタ成長が続くなか、まずは 7 月高値水準付近となる 3400 円を目標株価としたい。

★リスク要因

企業による広告費削減、など。

7095: 日足

相場全体で買い戻し続く中、出遅れ感のある株価水準。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/4連	9,779	51.2%	785	785	115.7%	547	173.20
2022/4連	14,425	47.5%	1,237	1,233	57.1%	760	235.76
2023/4連	19,589	35.8%	2,162	2,108	71.0%	1,567	482.18
2024/4連	39,405	101.2%	3,670	3,668	74.0%	2,282	635.08
2025/4連予	48,000	21.8%	4,500	4,470	21.9%	2,720	187.57

IDOM〈7599〉プライム

「ガリバー」ブランドで中古車事業展開、大型店出店を加速

■1Q営業利益は前年同期比60.5%増

「ガリバー」ブランドで中古車販売事業を行う。24年2月末現在の店舗数は買取店205店舗、中型店148店舗、大型店53店舗。中型店は外車専門店タイプやカスタムカー専門店タイプも展開。大型店は整備工場や板金工場を併設し、付帯サービスを提供するタイプも。各工場にカメラを設置するなどし、顧客の安心と作業の透明性を確保している。25年2月期第1四半期(24年3-5月)は、売上高1245.58億円(前年同期比18.3%増)、営業利益は44.49億円(同60.5%増)で着地。適切な価格設定や好調な付帯サービスが収益寄与した。

■シェア拡大余地は大きい

通期計画は、売上高は4565億円(前期比8.7%増)、営業利益203億円(同26.0%増)と増収増益を見込む。新車価格の上昇やオークション実績も鑑みて、今後の中古車相場はコロナ禍前より高水準で推移すると予想している。日本の中古車販売業者が約

売買単位	100 株
8/9 終値	1046 円
目標株価	1220 円
業種	卸売業

2万社ある中で、同社のシェアは約6%。大手3社合わせても20%に満たず、非寡占化市場となっていることから、シェア獲得余地は大きいと見ている。27年2月期には大型店100店舗を計画しており、シェア拡大につなげる考え。まずは7月高値からの調整幅の半値戻しとなる1220円近辺を目標としたい。

★リスク要因

大型店出店に伴う広告宣伝費や人件費の増加など。

7599:日足

200日線回復からの上昇に期待。



会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2021/2連	380,564	5.2%	10,571	9,642	40.4%	1,484	14.77
2022/2連	459,532	20.8%	18,485	17,561	82.1%	10,794	107.51
2023/2連	416,514	-9.4%	18,684	18,146	3.3%	14,205	141.48
2024/2連	419,852	0.8%	16,117	15,826	-12.8%	11,442	113.96
2025/2連予	456,500	8.7%	20,300	19,800	25.1%	13,600	135.45

レーザーテック プライム〈6920〉／想定以上の好決算を受けて反発力強める

先週は大幅反発、後半にかけて上げ幅を広げる展開になった。7日に24年6月期の決算を発表、第4四半期（4-6月期）営業利益は233億円で前年同期比33.2%減となったが、160億円程度であった市場予想は大きく上振れている。25年6月期は1040億円で前期比27.8%増の見通しとしており、1100億円程度のコンセンサスは下回っているが、4-6月期受注高も過去最高水準となっており、保守的なガイダンスと捉えられている。

とりわけ、決算では受注高が市場の期待値を大きく上回るものになったとみられる。1-3月期が763億円と高水準であったことから、反動減も想定されていたが、実際は1239億円となった。ACTISの受注高に至っては、第3四半期累計水準を4-6月期だけで上回るものとなっている。情報開示姿勢も以前より積極化と評価されており、株価反動余地は依然大きい。



資生堂 プライム〈4911〉／決算にネガティブインパクト広がり週後半にかけ大幅安

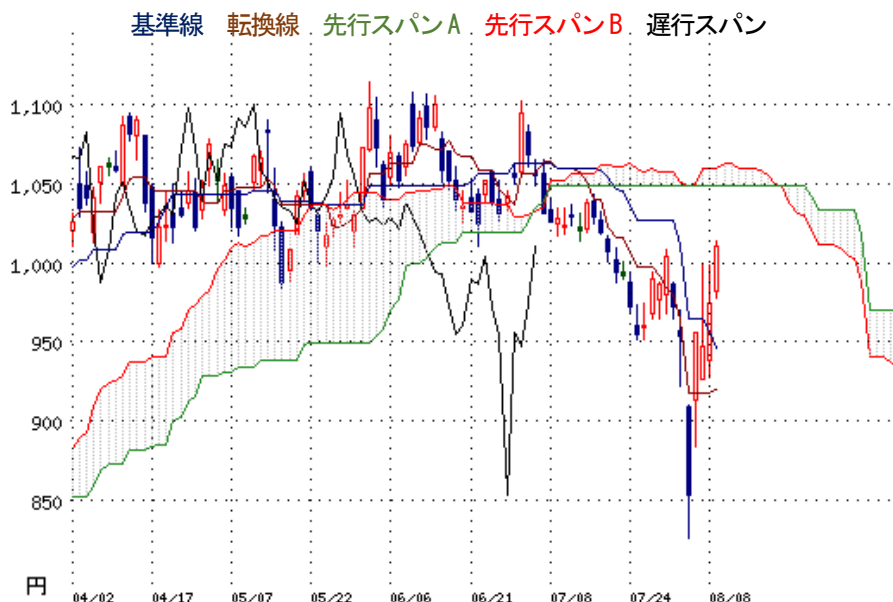
先週後半にかけ大幅続落。2日間での下落率は26%に達している。7日に発表した第2四半期の決算がネガティブインパクトにつながった。4-6月期コア営業利益は79億円で前年同期比48.8%減となり、市場予想のおよそ半分の水準にとどまっている。第1四半期の同9.6%減との比較で減益率も大幅に高まる格好に。米国や中国の売上減少が響く形になった。主力銘柄の中ではネガティブインパクトが強まった。

通期予想の550億円、前期比38.0%増は据え置いているが、上半期は30億円程度下回ったもようであり、計画達成のハードルは高いだろう。コンセンサス水準は急低下したとみられるが、当面は売り圧力が強まり、反動余地は限られそうだ。なお、11月に新事業戦略を開示する予定としており、新たな固定費削減策などへの期待感が発表前のタイミングでは高まる可能性はありそうだ。



出光興産 プライム<5019>

日足ベースの一目均衡表。先週は 8 月 5 日ザラ場の 826 円をボトムに反転し、週末 9 日は 4 日連続で下値を切り上げて終了した。三役逆転の弱気形状が続いているが、先週末には転換線が上向いて短期的な上昇圧力の強まりを示唆した。遅行線の弱気シグナルは減衰傾向にある。16 日には応当日株価が 9 日高値比で 9.5 円高の 1023.5 円まで低下するため、弱気シグナル発生停止による地合い三役逆転の返上とその後の上昇加速が期待される。



西武ホールディングス プライム<9024>

週足ベースのローソク足。先々週は右肩上がりで推移する 26 週移動平均線を 13 週線が下回ったが、13 週線自体はわずかに上向いていたためデッドクロス形成を回避。先週は 13 週線が上昇角度を増し、26 週線を再び上回ったことから、株価下方の 52 週線の上向きキープと併せて短期的な調整完了と上昇局面の再開が予想される。5 月安値から先々週高値までの上げ幅を先週安値に当てはめた N 計算値 3074 円が上値目標として意識される。



テーマ別分析: 権利取り季節到来の食品スーパーはディフェンシブ性も

■相場全体の下落に巻き込まれて株価が大きく調整した銘柄も多い

日経平均が歴史的な乱高下を繰り返している中、為替の動向が注目度を高めている。企業業績に対する為替の円安効果が警戒視され始める中、内需型企業の食品スーパー関連に注目度が高まる期待が膨らんでいる。

業態的にもディフェンシブ性を持つほか、2月期・8月期決算企業が複数あることから、中間および期末配当の権利取り相場がここから展開されるタイミングでもある。小売最大手のイオン<8267>の今期中間配当は1株あたり20円と予定されているほか、ハローズ<2742>、イズミ<8273>、アークス<9948>、ベルク<9974>なども中間配当実施予定となっている。

相場全体の下落に巻き込まれて株価が大きく調整した銘柄も多く、配当権利取り妙味の面でも関心が高まってきそうなセクターだ。

■主な「食品スーパー」関連銘柄

コード	銘柄	市場	8/9 株価 (円)	概要
141A	トライアルホールディングス	グロース	2621	九州中心に食品スーパーも展開、グロース時価総額トップ
2742	ハローズ	プライム	4180	中四国で24時間営業に特徴、8月末26円配当予定
2791	大黒天物産	プライム	11260	岡山主力に食品ディスカウントストア、連続最高益予想
2937	サンクゼール	グロース	1800	自社ブランド加工食品の久世福商店展開、小型業態店開発
3038	神戸物産	プライム	4043	業務スーパーで業務用、個人客取り込む、10月期決算
3094	スーパーバリュー	スタンダード	830	ロピアグループの埼玉地盤の食品スーパー
3096	オーシャンシステム	スタンダード	1050	新潟地盤、業務スーパー事業展開、弁当給食事業も
3222	ユニテッド・スーパーマーケット	スタンダード	874	8月末に8円配当予定、首都圏の大手スーパー
3539	JMホールディングス	プライム	2780	茨城から関東に展開、業務用スーパーや「生鮮館」出店
7475	アルビス	プライム	2672	富山地盤で北陸で展開、筆頭株主は三菱商事
7512	イオン北海道	スタンダード	892	北海道地盤のスーパー大手、西友の札幌9店舗を取得
7520	エコス	プライム	2003	「エコス」「たいらや」ブランドで首都圏展開
7643	ダイイチ	スタンダード	1256	北海道地盤、2024年9月期限の自社株買い継続中
8167	リテールパートナーズ	プライム	1380	8月末14円配当予定、山口地盤で九州へも展開
8217	オークワ	プライム	887	8月末13円配当予定、和歌山地盤に近畿・中京へ出店拡大
8267	イオン	プライム	3509	8月末20円配当予定、国内小売最大手、GMSに特徴
8273	イズミ	プライム	3368	8月末45円配当予定、中四国・九州で大型店舗指向
8278	フジ	プライム	1935	8月末15円配当予定、四国最大の食品スーパー
8279	ヤオコー	プライム	8936	埼玉地盤、イタリア大使館貿易促進部とパートナーシップ
9823	マミーマート	スタンダード	4370	埼玉地盤の食品スーパー、9月末47円配当予定
9846	天満屋ストア	スタンダード	1027	8月末7円配当予定、岡山地盤で総菜に特色
9948	アークス	プライム	2547	8月末34円配当予定、北海道最大の食品スーパー
9956	バローホールディングス	プライム	2355	中部地盤、トーヨー(8142)のスーパー事業取得
9974	ベルク	プライム	5810	8月末58円配当予定、埼玉地盤、イオン、しまむら大株主

出所：フィスコ作成

市場が落ち着きを取り戻す中で好実態銘柄の押し目買いに注目

■先週末後半にかけて市場は落ち着き取り戻す

先週初めの日経平均は過去最大の下げ幅を記録、翌日は一転して過去最大の上げ幅を記録するなど、株式市場は大荒れとなったが、先週末にかけて落ち着きを取り戻す状況になりつつある。株価急変動後の需給波乱に対する警戒感も後退しつつあり、当面は米国の利下げ期待などを背景とした株価上昇相場入りを想定したい。とりわけ、増益基調が続く高ROE銘柄などの好ファンダメンタルズ銘柄の押し目買いが妙味となつてこよう。

スクリーニング要件としては、①今期予想含めて3期連続で営業30%以上増益銘柄、②実績ROEが15%以上、③7月31日比株価下落率が10%以上。

■連続大幅増益の高ROE銘柄

コード	銘柄	市場	8/9株価 (円)	時価総額 (億円)	ROE (%)	株価騰落率 (%)	予想 1株利益 (円)
2998	クリアル	グロース	3,790.0	218.8	17.23	-14.16	145.12
3496	アズーム	グロース	4,800.0	288.1	34.48	-22.58	196.63
4371	コアコンセプト・テクノロジー	グロース	1,738.0	278.3	40.63	-23.91	96.79
4431	スマレジ	グロース	1,860.0	365.2	20.32	-18.03	73.60
5248	テクノロジーズ	グロース	591.0	100.0	58.11	-19.04	86.18
5253	カバー	グロース	1,527.0	933.4	37.14	-21.81	82.85
7148	FPG	プライム	2,001.0	1,782.4	28.29	-23.89	211.29
7936	アシックス	プライム	2,203.5	16,735.2	17.31	-10.97	79.80
9416	ビジョン	プライム	1,184.0	596.2	21.03	-11.77	78.51
9552	M&A総研HD	プライム	2,269.0	1,308.2	47.28	-24.87	79.66

(注) 株価騰落率は7月31日比

出所：フィスコアプリより作成

下落以上にリバウンドした銘柄は？

■歴代最大の下落幅と上昇幅を記録した市場での株価反応

8月5日は歴代最大の下落幅を記録し、東京株式市場の「ブラックマンデー」となったが、翌6日には過去最大の上げ幅を記録するなど乱高下の激しい展開になったことをふまえ、SBI証券ではこの時期の株価反応を探り定量分析を行っている。

分析ではプライム市場構成銘柄を対象に、8月1日～5日までの下落率を超える上昇率を記録した57銘柄をスクリーニングしている。さらにこれら57銘柄は総じて、時価総額帯は中型株に集中したブレット型に近い／個別株ボラティリティ、利益率、ROA、空売り残高が高い／長期的な出遅れ傾向があるという特徴を確認している。反対に、市場リスクは株式ベータや海外経済感応度、財務リスクは、レバレッジが低くなっているという傾向も確認している。

「下落以上にリバウンドした銘柄」(SBI証券)

コード	銘柄名	BARRA業種	時価総額 (億円)	5日リターン (%)① 8月1日～5日	1日リターン (%)② 8月6日	回復率 ②÷①(%)	レジデュアル ボラティリティ	収益性	長期 リバーサル	中型株	空売り 残高	ベータ	海外経済 感応度
9889	JBCCHD	ソフトウェア	680	-0.67	4.32	87%	0.82	1.51	-0.27	0.24	-0.39	-0.88	-1.65
2791	大黒天物産	百貨店&スーパー	1,575	-0.68	3.59	84%	1.82	1.61	1.45	0.88	-0.51	-2.30	-1.65
3865	北越コーポ	紙&パルプ	2,202	-1.62	6.67	80%	2.92	-0.63	-0.87	1.00	3.91	-1.18	0.45
5423	東京製鐵	金属	2,074	-2.72	8.32	75%	0.09	0.20	-0.48	1.00	-0.32	0.25	-1.00
4684	オービック	ソフトウェア	23,162	-1.79	5.02	74%	0.01	1.01	-0.56	0.11	0.03	-1.56	-1.72
9302	三井倉庫HD	貨物運送	1,267	-4.00	10.31	72%	-0.54	-0.31	-0.38	0.73	0.25	-1.34	-0.76
9843	ニトリHD	その他専門小売	21,212	-1.99	5.01	72%	1.48	0.67	0.40	0.18	-0.05	-1.78	-1.65
1959	九電工	インフラ建設	4,386	-3.91	8.38	68%	1.47	-0.26	0.18	0.95	-0.38	-1.83	-1.65
6857	アドバンテスト	半導体&半導体装置	45,210	-7.29	15.53	68%	1.66	0.96	-1.70	-0.32	-0.34	1.03	1.75
7600	日本MDM	精密機器	195	-5.33	11.25	68%	0.02	0.89	2.28	-2.72	-0.57	-1.04	-1.65
4547	キッセイ薬品工業	薬品	1,674	-2.42	4.66	66%	-0.04	-0.31	-0.11	0.93	-0.31	-1.65	-1.65
4506	住友ファーマ	薬品	1,771	-3.55	6.63	65%	2.72	-0.51	2.84	0.92	1.00	-1.40	1.01
8200	リンガーハット	その他専門小売	582	-1.35	2.15	61%	-0.88	1.84	0.19	-0.07	3.22	-2.81	-1.65
3539	JMHD	百貨店&スーパー	734	-3.71	5.79	61%	0.05	2.06	1.36	0.30	0.11	-1.85	-1.65
9058	トランコム	貨物運送	651	-3.07	4.67	60%	0.46	0.43	0.96	0.15	-0.19	-2.47	-1.65
3103	ユニチカ	繊維&アパレル	173	-23.00	34.63	60%	2.60	-1.26	2.69	-3.01	1.03	-1.82	-0.68
9882	イエローハット	その他専門小売	1,268	-4.94	7.28	60%	-0.03	0.93	0.73	0.79	-0.33	-2.48	-1.65
1942	関電工	インフラ建設	3,740	-6.45	9.36	59%	0.66	-0.42	0.10	0.99	-0.09	-1.03	-1.65
3046	ジンズHD	その他専門小売	1,085	-7.13	10.19	59%	1.83	2.39	3.03	0.65	-0.04	-2.68	-0.84
4483	JMDC	産業サービス	2,218	-7.87	11.02	58%	1.43	-0.12	-1.32	1.00	1.23	0.78	-1.65
7874	レック	家庭用品&化粧品	437	-8.82	12.24	58%	1.49	-0.47	2.35	-0.62	0.70	-2.81	-1.65
2282	日本ハム	食品	5,124	-3.18	4.29	57%	-0.20	-0.09	0.82	0.94	-0.80	-2.30	-1.17
9055	アルプス物流	貨物運送	2,041	-0.52	0.70	57%	1.66	-0.36	0.96	0.99	0.38	-1.42	-0.08
1980	ダイダン	インフラ建設	1,278	-15.73	20.69	57%	1.25	-0.20	1.59	0.84	-0.35	-0.42	-1.65
4005	住友化学	化学	6,213	-5.43	7.11	57%	0.26	-1.14	1.11	0.85	-0.01	-0.62	1.05
5393	ニチアス	住宅建築	3,472	-13.93	17.83	56%	-0.43	0.28	1.02	1.03	0.97	-0.70	-0.95
7630	壱番屋	その他専門小売	1,673	-6.56	8.34	56%	-0.50	1.46	-0.04	0.93	0.22	-1.82	-1.12
5541	大平洋金属	金属	248	-10.72	13.39	56%	-0.50	-2.61	1.51	-1.70	1.38	0.05	-1.45
8114	デサント	繊維&アパレル	3,350	-16.81	20.80	55%	1.10	1.31	-0.49	1.03	-0.27	-1.42	0.45
9104	商船三井	貨物運送	16,625	-12.31	15.11	55%	1.02	-0.71	-1.80	0.28	0.91	-1.05	-0.62
2730	エディオン	その他専門小売	1,985	-5.25	6.44	55%	-0.52	0.86	-0.26	0.98	1.45	-2.57	-1.65

注: プライム市場銘柄が対象、8月6日の上昇率が1日～5日の下落率以上になった銘柄を対象、回復率降順

出所: Bloomberg、BARRA 日本株モデル JPNEFMLT

※紙面スペースの都合上、回復率55%以上の銘柄について掲載

追証警戒で売りが広がった格好か

8月2日時点の2市場信用残高は、買い残高が1088億円減の4兆8720億円、売り残高が1258億円減の5586億円。買い残高が4週間ぶりの減少、売り残高は4週連続での減少となった。また、買い方の評価損益率は-9.36%から-13.69%、売り方の評価損益率は+4.29%から+6.68%に。なお、信用倍率は7.28倍から8.72倍。

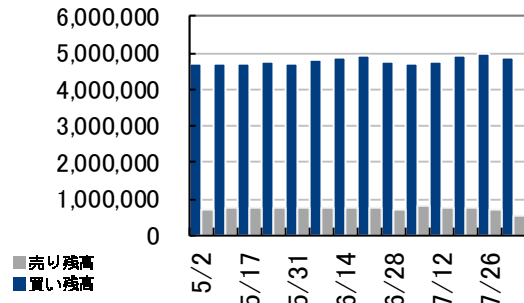
この週（7月29日-8月2日）の日経平均は前週末終値比1757.71円安の35909.70円。7月30-31日開催の日本銀行の金融政策決定会合は、事前に伝わった通りの内容だったことで市場の反応は限定的だった。しかし「経済・物価見通しに沿って動けば、引き続き金利を上げていく」といった日銀総裁のタカ派な発言を受けて、為替は1ドル=150円台まで円高が加速。その後、日米金利差縮小もあり、為替は1ドル=148円までさらに急伸。週末は、米国の景気悪化懸念が強まったことや米ハイテク株のさえない決算などを背景に、日本株が急落。日経平均は2216.63円安の35909.70円と1987年10月20日のブラックマンデーによる暴落以来、史上2番目の下落幅となった。

個別では、東製鉄<5423>が売り長の需給状況になった。7月25日に1448円まで売られ、年初来安値を更新していたが、26日は業績予想の上方修正と自社株買いを発表し、29日にはストップ高まで買われた。その後も好感した買いが継続するなか、8月1日には年初来高値を更新。急ピッチの上昇で過熱感が意識されやすいなか、買い方の利益確定の売りに対して新規売りが積み上がる形となった。また、ビックカメラ<3048>は8月決算企業であり、ノーリスクで株主優待を取りに行くためのヘッジ対応の新規売りが積み上がっているようだ。そのほか、アドバンテスト<6857>は1日の米国市場で景気後退懸念からSOX指数が急落するなか、2日の東京市場で半導体株が軒並み売られており、リスクヘッジに伴う新規売りが積み上がった。

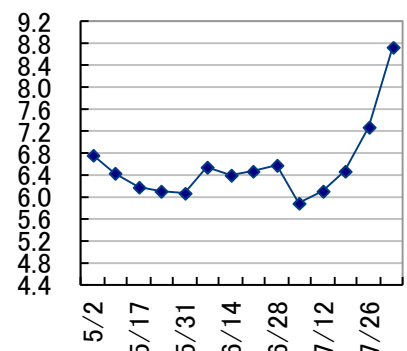
取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	8/9終値 (円)	信用買残 (8/2:株)	信用売残 (8/2:株)	信用倍率 (8/2:倍)	信用買残 (7/26:株)	信用売残 (7/26:株)	信用倍率 (7/26:倍)
5423	プライム	東製鉄	1,883.0	224,200	806,800	0.28	605,400	143,300	4.22
3048	プライム	ビックカメラ	1,580.0	150,900	889,400	0.17	397,200	506,100	0.78
2791	プライム	大黒天	11,260.0	15,200	89,200	0.17	35,900	51,200	0.70
7182	プライム	ゆうちょ	1,392.5	5,416,200	771,500	7.02	5,801,100	220,300	26.33
6857	プライム	アドバンテ	5,792.0	5,819,200	2,573,500	2.26	8,090,700	991,900	8.16
7611	プライム	ハイデ日高	2,704.0	152,300	924,300	0.16	153,200	390,000	0.39
8276	プライム	平和堂	2,318.0	25,100	1,461,000	0.02	50,800	1,037,000	0.05
9861	プライム	吉野家HD	2,944.5	479,700	1,658,700	0.29	664,200	1,025,700	0.65
6632	プライム	JVCKW	1,072.0	3,478,000	1,002,800	3.47	3,806,400	522,500	7.28
6961	プライム	エンブラス	7,950.0	135,200	132,100	1.02	220,700	103,500	2.13
7201	プライム	日産自	410.2	42,995,400	7,182,200	5.99	43,636,300	3,538,000	12.33
3382	プライム	7&I-HD	1,672.5	2,854,000	760,500	3.75	3,906,400	568,500	6.87
7513	プライム	コジマ	1,064.0	108,200	1,936,600	0.06	214,300	1,966,100	0.11
7545	プライム	西松屋チェ	2,184.0	126,200	1,848,400	0.07	144,900	1,159,400	0.12
8200	プライム	リンガハット	2,244.0	141,900	986,000	0.14	201,000	901,600	0.22

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



コラム:「オランダ病」国家の再建

ベネズエラで先月末に行われた大統領選の結果をめぐり、周辺国を巻き込んだ混乱が続いています。現職のマドゥロ大統領が敗北を認めず、アメリカが介入に乗り出しました。石油資源に恵まれながら破綻状態にあるベネズエラは政権交代で再生できるでしょうか。

7月28日のベネズエラ大統領選で、全国選挙評議会(CNE)は反米左派マドゥロ氏の得票率が52%となり、42%の野党連合候補で元外交官のゴンサレス氏を上回ったと発表。しかし、事前の世論調査や出口調査ではゴンサレス氏の圧勝だったことから、投票結果に疑念が強まりました。野党側は各投票所を調査してゴンサレス氏の当選を訴え、アルゼンチンやエクアドルなど周辺国もそれに同調しています。

ベネズエラは、経済の過度な石油依存と政府の財政運営の失敗により、実質破綻状態にあります。2000年以降の3回のデノミで実に14桁も切り下げられ、通貨ボリバルの価値は著しく損なわれています。国際通貨基金(IMF)のデータによれば、2023年のインフレ率は2000%を超え、マイナス成長が続いています。2013年に発足したマドゥロ政権に批判が強まっているのは当然です。

2014年の原油価格の急落は、ベネズエラ経済に大打撃を与えました。しかし、その後の価格反騰にもかかわらず、経済は回復していません。その主な理由は、政府の管理体制の不備と汚職の蔓延にあります。国有石油会社PDVSAの生産能力が低下し、インフラの老朽化や投資不足により生産量が回復しない状況です。さらに、国際制裁や外交的孤立も経済の再生を妨げる要因となっています。

ベネズエラ同様、石油資源に恵まれているものの、政治や経済が混乱している国としてリビアやナイジェリアが挙げられます。やはり政治的不安定や汚職、内戦などが原因で経済は混乱。石油依存の経済構造が多様化を妨げているという共通点があります。対照的に、中東諸国は比較的安定した政治体制を維持しており、石油収入をインフラや教育、医療などに投じて経済の多様化を進めている点が顕著な違いです。

石油やガスなどの豊富な国で輸出拡大により自国通貨が高騰すれば国内経済は繁栄するものの、資源価格の下落で一転して財政難に陥り経済が悪化するケースが多くみられ、過去の事例から「オランダ病」と呼ばれます。ベネズエラはその典型で、新政権発足の際には信頼できる政府と透明な行政を確立するとともに、石油以外の収入源を育成し、経済の多様化を進める以外に道はなさそうです。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-9
2	レーティング	格上げ・買い推奨	10
		格下げ・売り推奨	11
3	投資主体別売買動向	総括コメント	12
		市場別データ	13
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	14
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄（プライム）	15
		雲下抜け銘柄（プライム）	16

8月12日～8月16日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
8月12日	月	20:25	ブ・週次景気動向調査
		21:00	印・消費者物価指数(7月)
		21:00	印・鉱工業生産(6月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
		27:00	米・財政収支(7月)
			株式市場は祝日のため休場(山の日の振替休日)
			中・資金調達総額(7月、15日までに)
			中・マネーサプライ(7月、15日までに)
			中・元建て新規貸出残高(7月、15日までに)
			中・不動産2社(世茂集団と時代中国)の清算申し立てを巡る香港裁判所での審理
			印・輸出(7月、14日までに)
			印・輸入(7月、14日までに)
			印・貿易収支(7月、14日までに)
			米・ニューヨーク連銀インフレ期待(7月)
			モンゴル・日モンゴル首脳会談
			岸田首相が内外記者会見
			石油輸出国機構(OPEC)月報
8月13日	火	08:50	国内企業物価指数(7月)
		15:00	工作機械受注(7月)
		15:00	英・失業率(7月)
		15:00	英・ILO失業率(4-6月)
		18:00	独・ZEW景気期待指数(8月)
		21:00	ブ・IBGEサービス部門売上高(6月)
		21:30	米・生産者物価コア指数(7月)
			決算発表 オープンハウスG、アシックス、マツココ、光通信
			米・アトランタ連銀総裁が講演
8月14日	水		決算発表 ホーム・デポ
		11:00	NZ・ニュージーランド準備銀行(中央銀行)が政策金利発表
		15:00	英・消費者物価コア指数(7月)
		15:00	英・生産者物価産出指数(7月)
		15:30	印・卸売物価指数(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏GDP改定値(4-6月)
		18:00	欧・ユーロ圏鉱工業生産(6月)
		21:00	ブ・小売売上高(6月)
		21:30	米・消費者物価コア指数(7月)
			決算発表 電通G、荏原製作所、すかいらくH、朝日インテック
			決算発表 UBSグループ、テンセント、鴻海精密工業、シスコシステムズ

8 月 12 日～8 月 16 日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
8月15日	木	08:50	GDP速報値(4-6月)
		10:10	国債買い入れオペ(残存1-3年、残存5-10年、残存10-25年、残存25年超)(日本銀行)
		10:20	中・1年物中期貸出ファシリティ金利
		10:30	中・新築住宅価格(7月)
		10:30	中・中古住宅価格(7月)
		10:30	豪・失業率(7月)
		11:00	中・鉱工業生産指数(7月)
		11:00	中・小売売上高(7月)
		11:00	中・固定資産投資(都市部)(7月)
		11:00	中・不動産投資(7月)
		11:00	中・住宅販売(7月)
		11:00	中・調査失業率(7月)
		13:30	鉱工業生産(6月)
		13:30	設備稼働率(6月)
		15:00	英・鉱工業生産指数(6月)
		15:00	英・商品貿易収支(6月)
		15:00	英・GDP速報値(4-6月)
		21:30	米・ニューヨーク連銀製造業景気指数(8月)
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・輸入物価指数(7月)
		21:30	米・小売売上高(7月)
		22:15	米・鉱工業生産指数(7月)
		23:00	米・企業在庫(6月)
		23:00	米・NAHB住宅市場指数(8月)
		29:00	米・対米証券投資収支(ネット長期TICフロー)(6月)
			米・セントルイス連銀総裁が講演
			米・フィラデルフィア連銀総裁が講演
			ペルー・アジア太平洋経済協力(APEC)エネルギー相会合(16日まで)
			決算発表 ウォルマート、JDドットコム、アリババ、アブライド
8月16日	金	08:50	対外・対内証券投資(先週)
		13:30	第3次産業活動指数(6月)
		15:00	英・小売売上高指数(7月)
		17:00	台湾・GDP(4-6月)
		17:30	香港・GDP(4-6月)
		18:00	欧・ユーロ圏貿易収支(6月)
		20:00	ブ・FGVインフレIGP-10(8月)
		20:00	ブ・FGVインフレIPC-S(先週)
		21:00	ブ・経済活動(6月)
		21:30	米・住宅着工件数(7月)
		21:30	米・住宅建設許可件数(7月)
		23:00	米・ミシガン大学消費者信頼感指数速報(8月)
			決算発表 パンパシ、環境管理センター
			印・外貨準備高(先週)
			米・シカゴ連銀総裁が討論会に参加

■(欧)4-6 月期ユーロ圏域内総生産(GDP)改定値

8 月 14 日(水)午後 6 時発表予定

(予想は、前年比+0.6%) 速報値ではフランスとスペインの GDP はいずれも予想を上回った。ただ、域内における経済成長にはばらつきがあり、欧州中央銀行 (ECB) の金融政策の方向性については予断を許さない状況が続くとみられる。

■(米)7 月消費者物価コア指数

8 月 14 日(水)午後 9 時 30 分発表予定

(予想は、前年比+3.2%) 参考となる 6 月実績は前年比+3.3%。住居費やその他のサービス価格でも低下が見られるなど、米連邦準備制度理事会 (FRB) が目標とする 2%の物価安定目標に向けて、良好な進捗を示すものとなった。7 月についてはサービス価格の低下が予想されるため、コアインフレ率は伸び悩む可能性がある。

■(日)4-6 月期国内総生産

8 月 15 日(木)午前 8 時 50 分発表予定

(予想は、前期比年率+2.0%) 一部自動車メーカーの品質不正問題によって停止していた自動車生産が回復していること、賃金増加等による所得の改善を受けて個人消費が前期比プラスに転じた可能性があることがプラス成長に寄与するとみられる。

■(米)7 月小売売上高

8 月 15 日(木)午後 9 時 30 分発表予定

(予想は、前月比+0.3%) 参考となる 6 月実績は前月比横ばい。インフレ率の鈍下が個人消費を下支えしたとみられている。7 月については雇用情勢の緩やかな悪化の影響が表面化しつつあることから、小幅な増加にとどまる見込み。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月13日	141A	トライアル	グロース	15:00	4255	THECOO	グロース	15:00	
	150A	JSH	グロース	15:00	4256	サインド	グロース	16:00	
	153A	カウリス	グロース	15:00	4259	エクワイザー	グロース	15:00	
	155A	情報戦略	グロース	15:00	4264	セキユア	グロース	-	
	1743	コアツ工業	スタンダード	15:00	4265	IGS	グロース	15:00	
	1914	日基礎	スタンダード	15:00	4323	日シス技術	プライム	16:00	
	197A	タウンズ	スタンダード	15:00	4371	CCT	グロース	16:00	
	2121	MIXI	プライム	15:00	4385	メルカリ	プライム	15:00	
	2122	ISベース	スタンダード	15:00	4386	SIG G	スタンダード	15:00	
	2150	ケアネット	プライム	15:00	4393	バンクイバ	グロース	15:00	
	2180	サニーサイト	スタンダード	15:00	4414	フレクト	グロース	16:00	
	2196	エスクリ	スタンダード	15:00	4418	JDSC	グロース	15:00	
	2304	CSSH D	スタンダード	-	4424	Amazia	グロース	15:00	
	2323	fonfun	スタンダード	15:00	4435	カオナビ	グロース	16:00	
	2325	NJS	プライム	-	4438	Welby	グロース	15:00	
	2436	共同PR	スタンダード	15:00	4444	インフォネット	グロース	-	
	2488	JTP	スタンダード	15:00	4488	Alinside	グロース	15:00	
	2501	サッポロHD	プライム	15:00	4583	カイオム	グロース	-	
	2585	ライフリンク	プライム	16:00	4593	ヘリオス	グロース	15:00	
	2749	JPHD	プライム	15:00	4664	RSC	スタンダード	-	
	2780	コメ兵HD	スタンダード	15:00	4725	CACHD	プライム	15:00	
	2831	はごろも	スタンダード	15:00	4776	サイテックス	プライム	15:00	
	2933	紀文食品	プライム	16:00	4890	坪田ラボ	グロース	16:00	
	3010	ホリスHD	スタンダード	16:00	4894	ケリアス	グロース	15:00	
	3058	三洋堂HD	スタンダード	15:00	4925	HABA	スタンダード	16:00	
	3069	JFLAHD	スタンダード	16:00	4937	Waqoo	グロース	15:00	
	3082	きちりHD	スタンダード	15:00	4955	アグロネット	スタンダード	15:00	
	3088	マツキヨコカラ	プライム	15:00	4978	リプロセル	グロース	15:00	
	3133	海 帆	グロース	15:00	5011	ニチレキ	プライム	15:00	
	3138	富士マガ	グロース	15:00	5028	セカンドサイト	グロース	15:00	
	3140	BRUNO	グロース	-	5035	HOUSEI	グロース	15:00	
	3143	オーウイル	スタンダード	15:00	5036	日ビシス	スタンダード	15:00	
	3254	プレサンス	スタンダード	15:00	5070	ドラフト	グロース	15:00	
	3288	オープンハウス	プライム	15:00	5126	ホーテックス	グロース	15:00	
	3300	アビジョン	グロース	15:00	5137	スマートライ	グロース	15:00	
	3322	アルファG	スタンダード	15:00	5138	Rebase	グロース	15:00	
	3370	アジューホ	スタンダード	15:00	5247	BTM	グロース	15:00	
	3416	ピクスタ	グロース	15:00	5258	TMN	グロース	-	
	3494	マリオン	スタンダード	15:00	5586	LaboroAI	グロース	-	
	3540	Ciメディカル	スタンダード	15:00	5618	ナイル	グロース	15:00	
	3559	ビーバン	スタンダード	16:00	5721	S・サイエンス	スタンダード	16:00	
	3561	力の源HD	プライム	-	5753	日伸銅	スタンダード	15:00	
	3600	アジックス	スタンダード	16:00	5757	CKサンエツ	プライム	15:00	
	3646	駅 探	グロース	16:00	5892	yutori	グロース	16:00	
	3649	ファインテックス	プライム	15:00	5939	大谷工業	スタンダード	15:00	
	3692	FFRI	グロース	15:00	5987	オーネックス	スタンダード	15:00	
	3710	シヨルダン	スタンダード	16:00	6030	アパベンチャ	グロース	15:00	
	3727	APLIX	グロース	15:00	6149	小田原	スタンダード	15:00	
	3800	ユニリタ	スタンダード	15:00	6167	富士ダイス	プライム	15:00	
	3808	オウケイウェイヴ	名証ネクスト	-	6177	AppBank	グロース	15:00	
	3923	ラクス	プライム	15:00	6190	PXB	グロース	15:00	
	3924	ラントコビル	プライム	15:00	6193	バーチャレックス	グロース	16:00	
	3925	D S	プライム	15:00	6232	ACSL	グロース	15:00	
	3929	ソーシャルワイヤ	グロース	15:00	6298	ワイエイシHD	プライム	15:00	
	3968	セグエ	プライム	16:00	6335	東京機	スタンダード	15:00	
	3986	ビーブレイク	グロース	15:00	6513	オリジン	スタンダード	17:00	
	3989	シェアリングT	グロース	15:00	6538	キャリアイデ	スタンダード	-	
	4040	南海化学	スタンダード	15:00	6540	船 場	スタンダード	15:00	
	4059	まぐまぐ	スタンダード	15:00	6547	グリーンズ	スタンダード	15:00	
	4165	ブレイド	グロース	15:00	6548	旅工房	グロース	15:00	

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月13日	6560	LTS	プライム	-	8月14日	9553	マイクロ ^ト	グロース	15:00
	6562	ジーニー	グロース	15:00		9564	FCE	スタンダード	15:00
	6571	QBネットHD	プライム	17:00		9621	建設技研	プライム	15:00
	6573	アジャイル	グロース	-		9658	太田昭	プライム	16:00
	6597	HPCシステムス	グロース	15:00		9723	京都ホテル	スタンダード	16:00
	6635	大日光	スタンダード	15:00		9731	白洋舎	スタンダード	15:00
	6677	エスケールク	スタンダード	15:00		9791	ビケンテク	スタンダード	16:00
	6728	アルバック	プライム	15:00		9856	キューHD	スタンダード	15:00
	6820	アイコム	プライム	15:00		9873	日本KFC	スタンダード	15:00
	6951	日電子	プライム	15:00		9890	マキヤ	スタンダード	15:00
	7031	インバウト ^ト	グロース	15:00		9904	ベリテ	スタンダード	13:00
	7038	フロンティアM	プライム	15:00		1380	秋川牧園	スタンダード	15:00
	7047	ポート	グロース	15:00		1443	技研HD	スタンダード	15:00
	7061	日ホスビス	グロース	15:00		147A	ソラコム	グロース	-
	7066	ピアズ	グロース	-		1491	中外鉱	スタンダード	15:00
	7078	INC	グロース	-		149A	シンカ	グロース	-
	7127	一家HD	スタンダード	15:00		157A	GEMスター	グロース	16:00
	7134	アップガレー	スタンダード	15:00		160A	アズパートナ	スタンダード	15:00
	7138	TORICO	グロース	15:00		1711	SDSHD	スタンダード	15:00
	7343	プロトマイン	グロース	16:00		173A	ハモック	グロース	-
	7345	アイパートナー	グロース	16:00		176A	レジル	グロース	15:00
	7347	マーキュリアHD	プライム	15:00		177A	ユージンバイ	グロース	-
	7356	Retty	グロース	-		1841	サン建	スタンダード	14:00
	7368	表示灯	スタンダード	16:00		195A	ライスカレー	グロース	15:00
	7369	メイホーHD	グロース	13:00		196A	MFS	グロース	15:00
	7462	CAPITA	スタンダード	15:00		206A	PRISMBio	グロース	-
	7524	マルシェ	スタンダード	15:00		2134	キタマキャピ ^ビ	スタンダード	17:00
	7562	安楽亭	スタンダード	16:00		2158	FRONTEO	グロース	-
	7615	京きもの	スタンダード	15:00		2160	ジーマイ	グロース	16:00
	7638	NEW ART	スタンダード	-		2183	リニカル	スタンダード	16:00
	7694	いつも	グロース	15:00		2206	グリコ	プライム	15:00
	7698	アイスコ	スタンダード	15:00		2215	第一バン	スタンダード	16:00
	7762	シチズン	プライム	15:00		2321	ソフトフロントH	グロース	15:00
	7776	セルシード	グロース	16:00		2330	フォーサイト ^ト	スタンダード	-
	7803	ブシロード ^ト	グロース	15:00		2334	イオレ	グロース	15:00
	7814	日本創発	スタンダード	15:00		2340	極楽湯HD	スタンダード	-
	7902	ソノコム	スタンダード	15:00		2388	ウエッジHD	グロース	-
	7936	アックス	プライム	15:00		2485	ティア	スタンダード	15:00
	8038	東都水	スタンダード	13:00		2498	オリコンHD	スタンダード	15:00
	8039	築地魚	スタンダード	15:00		2499	日本和装	スタンダード	15:00
	8050	セコーG	プライム	15:00		2586	フルツクルツタ	グロース	15:00
	8147	トミタ	スタンダード	11:00		2597	ユニカフェ	スタンダード	16:00
	8182	いなげや	プライム	15:00		2652	マンダラ	スタンダード	-
	8225	タカチホ	スタンダード	15:00		2654	アスモ	スタンダード	16:00
	8399	琉球銀	プライム	13:00		2656	バクターHD	スタンダード	15:00
	8705	日産証G	スタンダード	15:00		2673	夢 隊	スタンダード	15:00
	9073	京極運	スタンダード	15:00		2708	久 世	スタンダード	15:00
	9173	東海船	スタンダード	15:00		2721	JHD	スタンダード	16:00
	9193	東汽船	スタンダード	14:00		2743	ビクセル	スタンダード	-
	9246	プロジェクH	グロース	16:00		2752	ブシロードG	プライム	15:00
	9260	Wisemetac	プライム	15:00		2764	ひらまつ	スタンダード	16:00
	9271	和 心	グロース	16:00		2876	テルソーレ	スタンダード	15:00
	9327	イー・ロジック	スタンダード	-		2962	テクニスコ	スタンダード	15:00
	9337	トリドリ	グロース	-		2998	クリアル	グロース	15:00
	9338	INFORICH	グロース	15:00		3041	ビカダンHD	スタンダード	-
	9340	アソインター	スタンダード	15:00		3042	セキアガイ	グロース	15:00
	9363	大 運	スタンダード	15:00		3053	ベッパバー	スタンダード	16:00
	9386	日コネクト	プライム	15:00		3135	マーケットエンタ	プライム	15:00
	9435	光通信	プライム	-		3175	APHD	スタンダード	16:00
	9479	インプレス	スタンダード	16:00		3182	オイ大地	プライム	15:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月14日	3185	夢展望	グロース	-	4180	Appier	プライム	15:00	
	3197	すかいHD	プライム	15:00	4192	スパイダーP	グロース	16:00	
	3224	Gオイスター	グロース	-	4235	UFHD	スタンダード	15:00	
	3264	アスコット	スタンダード	-	4251	恵 和	プライム	-	
	3358	ワイズフード	スタンダード	15:00	4258	網 屋	グロース	15:00	
	3397	トリートHD	プライム	13:00	4260	ハイブリテック	グロース	-	
	3452	ビーロフト	スタンダード	15:00	4261	アジアウエスト	グロース	15:00	
	3457	AndDoHLD	プライム	15:00	4295	フェイス	スタンダード	16:00	
	3469	デュアルタ	スタンダード	-	4301	アムーズ	プライム	15:00	
	3474	G-FAC	グロース	15:00	4324	電通G	プライム	15:00	
	3489	フェイスNW	スタンダード	15:00	4356	応用技術	スタンダード	15:00	
	3538	ウйлプラスH	スタンダード	16:00	4374	ロボベイ	グロース	16:00	
	3556	リネットJPN	グロース	-	4376	くふうC	グロース	-	
	3623	ビルグシス	グロース	15:00	4377	ワンキリア	グロース	15:00	
	3660	アイスタイル	プライム	15:00	4387	ZUU	グロース	15:00	
	3661	エムアップHD	プライム	15:00	4391	ロジザード	グロース	15:00	
	3664	モブキャストH	グロース	15:00	4395	アクリト	グロース	15:00	
	3674	オークファン	グロース	16:00	4398	BBSec	スタンダード	15:00	
	3681	ブイキューブ	プライム	15:00	4419	Finatext	グロース	15:00	
	3691	テシプラス	グロース	15:00	4421	DIシステム	スタンダード	15:00	
	3694	オブティム	プライム	15:00	4425	Kudan	グロース	-	
	3708	特種東海	プライム	15:00	4428	シノプス	グロース	15:00	
	3750	サトリ細研	スタンダード	16:00	4436	ミンカブ	グロース	15:00	
	3758	アエリア	スタンダード	-	4437	GDH	グロース	15:00	
	3772	ウェルス	スタンダード	16:00	4445	リビント	グロース	16:00	
	3777	環境フレ	グロース	-	4449	ギフトィ	プライム	15:00	
	3799	キーウェア	スタンダード	16:00	4450	PSOL	グロース	15:00	
	3807	フィスコ	グロース	-	4476	AI CROSS	グロース	15:00	
	3825	REMIX	スタンダード	11:00	4478	フリー	グロース	15:00	
	3840	PATH	スタンダード	-	4480	メドレー	プライム	15:00	
	3845	アイフリーク	スタンダード	-	4481	ベース	プライム	15:00	
	3856	Abalance	スタンダード	-	4482	ウィルズ	グロース	-	
	3858	ユビキタスAI	スタンダード	15:00	4484	ランサーズ	グロース	-	
	3904	カヤック	グロース	15:00	4485	JTOWER	グロース	15:00	
	3905	デーSEC	グロース	15:00	4486	ユナイト&グロ	グロース	16:00	
	3909	ショーケース	スタンダード	15:00	4487	スペースマーケ	グロース	15:00	
	3913	GreenBee	グロース	-	4493	サイバセキュリ	グロース	16:00	
	3928	マイネット	スタンダード	15:00	4495	アイキューブ	グロース	16:00	
	3936	グローバルUE	グロース	-	4496	コマースワン	グロース	15:00	
	3940	ノムラシステム	スタンダード	14:00	4579	ラオリア	グロース	15:00	
	3962	チェンジHD	プライム	15:00	4584	キッズバイオ	グロース	15:00	
	3978	マクロミル	プライム	15:00	4596	窪田製薬	グロース	15:00	
	3979	うるる	グロース	15:00	4597	ルレイジア	グロース	15:00	
	3981	ビーグリー	スタンダード	15:00	4650	SDエンター	スタンダード	12:00	
	3983	オ ロ	プライム	15:00	4691	ワシントンホテル	スタンダード	15:00	
	3993	PKSHA	スタンダード	16:00	4754	トスネット	スタンダード	15:00	
	4011	ベトナムウォーター	グロース	16:00	4766	ビーエイ	スタンダード	15:00	
	4020	ビーレント	グロース	15:00	4777	ガーラ	スタンダード	15:00	
	4052	フィーチャ	グロース	15:00	4811	ドリームアーツ	グロース	15:00	
	4053	サンクス列ス	プライム	15:00	4840	トライアイズ	グロース	15:00	
	4068	ベイシス	グロース	15:00	4845	スカラ	プライム	15:00	
	4069	BlueMeme	グロース	15:00	4882	ベルセウス	グロース	15:00	
	4071	プラスアルファ	プライム	15:00	4892	サイフューズ	グロース	16:00	
	4073	ジィ・シー企	グロース	15:00	4896	ケイファーマ	グロース	15:00	
	4166	かっこ	グロース	15:00	4932	アルマード	スタンダード	15:00	
	4167	ココペリ	グロース	15:00	4990	昭和化	スタンダード	14:00	
	4170	KaizenPF	グロース	15:00	5010	日精蠟	スタンダード	-	
	4177	i-plug	グロース	15:00	5027	AnyMind	グロース	15:00	
	4178	Sイノベーション	グロース	15:00	5033	ヌーラボ	グロース	15:00	
	4179	ジーネクスト	グロース	-	5034	unerrv	グロース	15:00	

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月14日	5038	eWeLL	グロース	15:00	6627	テラプロ	スタンダード	15:00	
	5074	テスHD	プライム	15:00	6694	ズーム	スタンダード	15:00	
	5125	ファインズ	グロース	11:00	6699	ダイヤHD	プライム	15:00	
	5133	テロジーンHD	スタンダード	15:00	6721	ウインドテスト	スタンダード	16:00	
	5240	monoAI	グロース	15:00	6731	ピクセラ	スタンダード	16:00	
	5242	アイズ	グロース	15:00	6786	RVH	スタンダード	-	
	5244	jig.jp	グロース	15:00	6819	伊豆SR	スタンダード	16:00	
	5252	日ナレッジ	グロース	15:00	6835	アイトHD	スタンダード	15:00	
	5255	モンスターホ	グロース	16:00	6838	多摩川HD	スタンダード	16:00	
	5259	BBDI	グロース	15:00	6890	フェローテック	スタンダード	15:00	
	5582	グリッド	グロース	-	6942	ソフィアHD	スタンダード	15:00	
	5587	インバウンPF	グロース	15:00	6977	抵抗器	スタンダード	14:00	
	5588	ファーストA	グロース	-	7039	ブリッジ	グロース	12:00	
	5590	ネットスターズ	グロース	15:00	7041	CRGHD	グロース	15:00	
	5591	AVILEN	グロース	15:00	7042	アクセスGHD	スタンダード	16:00	
	5592	くすり窓	グロース	15:00	7044	ピアラ	スタンダード	-	
	5596	アウルック	グロース	-	7048	ベルトラ	グロース	15:00	
	5599	S&J	グロース	15:00	7057	エヌ・シー・エヌ	スタンダード	-	
	5616	雨風太陽	グロース	15:00	7058	共栄セキュリ	スタンダード	15:00	
	5619	マーソ	グロース	15:00	7062	フレアス	グロース	15:00	
	5621	ヒューマンT	グロース	15:00	7063	Birdman	グロース	15:00	
	5704	JMC	グロース	15:00	7069	サイバパス	グロース	15:00	
	5836	エージェントI	名証メイン	15:30	7072	インテM	グロース	-	
	5845	全保連	スタンダード	15:00	7082	ジモティー	グロース	15:00	
	5856	エルアイエイチ	スタンダード	15:00	7084	キッズスマイル	グロース	15:00	
	5868	ロココ	スタンダード	17:00	7091	LPF	グロース	15:00	
	5891	魅力屋	スタンダード	15:00	7092	FFJ	プライム	15:00	
	6027	弁護士コム	グロース	15:00	7093	アディッシュ	グロース	16:00	
	6031	サインシア	グロース	15:00	7111	INEST	スタンダード	-	
	6033	エクストリーム	グロース	15:00	7112	キューブ	グロース	15:00	
	6038	イード	グロース	15:00	7114	フーティソソ	グロース	16:00	
	6045	レントラックス	グロース	15:00	7115	アルファパチエ	スタンダード	15:00	
	6054	リブゼス	スタンダード	15:00	7119	ハルメクHD	グロース	15:00	
	6061	ユニバ園芸	スタンダード	15:00	7157	ライフネット	グロース	15:00	
	6063	EAJ	スタンダード	15:00	7256	河西工	スタンダード	16:00	
	6069	トレンダーズ	グロース	15:00	7325	アイリック	グロース	15:00	
	6070	キャリアリンク	プライム	-	7353	KIYO	グロース	15:00	
	6078	バリューHR	プライム	15:00	7354	DmMiX	プライム	-	
	6081	アイトアーキ	グロース	16:00	7362	T.S.I	グロース	16:00	
	6082	ライトオEX	スタンダード	15:00	7363	ベビーカレン	グロース	16:00	
	6092	エンバイオHD	スタンダード	16:00	7375	リファインパス	グロース	-	
	6095	メドピア	プライム	15:00	7383	ネットプロHD	プライム	-	
	6096	レアジョブ	スタンダード	16:00	7389	あいちFG	プライム	15:00	
	6198	キャリア	グロース	16:00	7409	AeroEdge	グロース	15:00	
	6276	シラウスV	スタンダード	16:00	7494	コナカ	スタンダード	12:00	
	6291	エアテック	スタンダード	15:00	7571	ヤマ/HD	スタンダード	15:00	
	6343	フリージアマク	スタンダード	15:00	7585	かんなん	スタンダード	16:00	
	6361	荏原	プライム	15:00	7635	杉田エース	スタンダード	15:00	
	6376	日機装	プライム	15:00	7676	グッドスピ	グロース	15:00	
	6400	不二精機	スタンダード	15:00	7677	ヤシマキサイ	スタンダード	16:00	
	6484	KVK	スタンダード	15:00	7685	BUYSELL	グロース	15:00	
	6494	NFK-HD	スタンダード	16:00	7686	カキヤSG	スタンダード	15:00	
	6533	オーケストラHD	プライム	15:00	7707	PSS	グロース	16:00	
	6545	IIF	グロース	15:00	7747	アサヒイテック	プライム	15:00	
	6551	ツナグGHD	スタンダード	15:00	7779	サイバダイン	グロース	15:00	
	6561	HANATOUR	グロース	16:00	7781	平山	スタンダード	15:00	
	6563	みらいWK	グロース	-	7782	シンシア	スタンダード	15:00	
	6579	ログリー	グロース	15:00	7793	イメージマジ	グロース	15:00	
	6592	マブチ	プライム	12:00	7800	アミファ	スタンダード	16:00	
	6626	SEMITEC	スタンダード	15:00	7809	書屋	スタンダード	15:00	

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月14日	7812	クレステック	スタンダード	15:00
	7836	アビックス	スタンダード	15:00
	7837	アールシーコア	スタンダード	16:00
	7956	ビジョン	プライム	-
	8072	出版貿	スタンダード	15:00
	8105	堀田丸正	スタンダード	15:00
	8518	アジア投資	スタンダード	15:00
	8737	あかつき	スタンダード	15:00
	8746	UNBANKED	スタンダード	15:00
	8783	GFA	スタンダード	16:00
	8836	RISE	スタンダード	15:00
	8938	グロームHD	グロース	-
	8946	エイシアスター	スタンダード	15:00
	9082	大和自	スタンダード	15:00
	9145	ビーイングH	スタンダード	14:00
	9159	WTOKYO	グロース	15:00
	9160	ノハレーゼ	スタンダード	15:00
	9161	ID&EHD	プライム	15:00
	9162	ブリーチ	グロース	15:30
	9211	エフ・コード	グロース	15:00
	9212	G&E	グロース	16:00
	9213	セイファート	スタンダード	-
	9214	リカバリー	グロース	15:00
	9218	メンタルヘルスT	グロース	15:00
	9219	ギックス	グロース	15:00
	9244	デジタルフト	グロース	15:00
	9344	アクシスC	グロース	16:00
	9345	ビスメイツ	グロース	15:00
	9346	コルボート	グロース	15:00
	9417	スマートパリュ	スタンダード	-
	9419	ワイヤレスG	スタンダード	-
	9450	ファイバーGT	プライム	-
	9468	KADOKAWA	プライム	-
	9522	リニューアブル	グロース	15:00
	9554	AVIC	グロース	-
	9557	エアクロ	グロース	15:00
	9561	グラッドキュー	グロース	15:00
	9563	Atlas	グロース	-
	9610	ウィルソンWLW	スタンダード	15:00
	9612	ラックランド	プライム	-
	9927	ワットマン	スタンダード	-
	9941	太洋物	スタンダード	15:00
	9980	MRK HLD	スタンダード	-
	9989	サントラック	プライム	15:00
8月15日	2385	総医研	グロース	15:00
	9682	DTS	プライム	-
8月16日	4657	環境管理	スタンダード	16:00
	7532	ハンバンHD	プライム	15:00
	9439	MHグループ	スタンダード	15:00

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
8月5日	岡三	8194	ライフコーポ	中立→強気格上げ	4200
8月6日	いちよし	7995	バルカー	B→A格上げ	4400
	シティ	2327	NSSOL	2→1格上げ	2500→4000
	岡三	4005	住友化	中立→強気格上げ	380→550
8月7日	JPモルガン	4612	日ペHD	OVERWEIGHT新規	1300
	いちよし	7732	トブコン	B→A格上げ	2000→1700
	シティ	7309	シマノ	3→1格上げ	22000→30000
	大和	7259	アイシン	3→2格上げ	4800→5400
	野村	6841	横河電	NEUTRAL→BUY格上げ	4400→4600
		7011	三菱重	NEUTRAL→BUY格上げ	1300→1940
8月8日	JPモルガン	6920	レーザーテック	NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ	40000
	ゴールドマン	4194	ビジョナル	中立→買い格上げ	9500→10000
		6920	レーザーテック	売り→中立格上げ	33000→34000
	シティ	4506	住友ファーマ	3→2格上げ	190→460
	モルガン	4970	東洋合成	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	9200→11000
	大和	6507	シンフォニア	3→2格上げ	1700→3600
	野村	6845	アズビル	NEUTRAL→BUY格上げ	5300→5400
8月9日	いちよし	4109	ステラケミファ	B→A格上げ	4500→4900
		4186	東応化	B→A格上げ	4700→4900
		6855	電子材料	B→A格上げ	4100→5500

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
8月5日	大和	5214	日電硝	1→2格下げ	4400→4000
8月7日	ゴールドマン	4183	三井化学	買い→中立格下げ	5130→4090
8月8日	いちよし	1377	サカタのタネ	A→B格下げ	4700→3800
8月9日	みずほ	3279	API	買い→中立格下げ	500000→370000

7 月第 5 週: 外国人投資家は総合で売り越しを継続

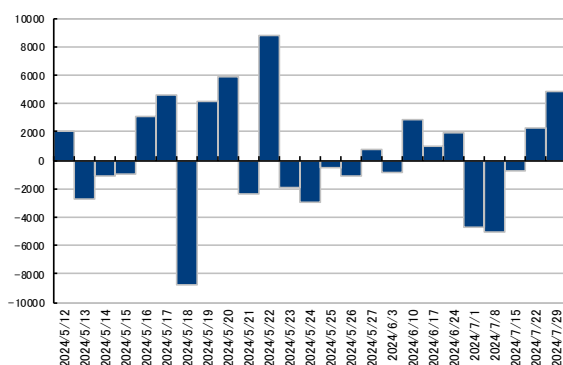
7 月第 5 週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で 1 兆 43 億円と売り越しを継続した。現物、TOPIX 先物、225 先物ともに売り越しを継続した。個人投資家は総合で 4609 億円と買い越しを継続した。

そのほか、投信は 2704 億円と買い越しを継続し、都地銀は 1689 億円と買い越しに転じた。生・損保は 390 億円と売り越しに転じ、事法は 1353 億円と買い越しを継続し、信託は 728 億円と売り越しに転じた。

なお、自己は現物で売り越しを継続し、TOPIX 先物と 225 先物で買い越しを継続し、総合で 727 億円と買い越しを継続した。この週の裁定残は前週末比 2103.36 億円減（売り越し）とネットベースで 1 兆 5467.20 億円の買い越しとなった（買い越し幅減少）。週間の騰落率は日経平均で 4.67% の下落だった。

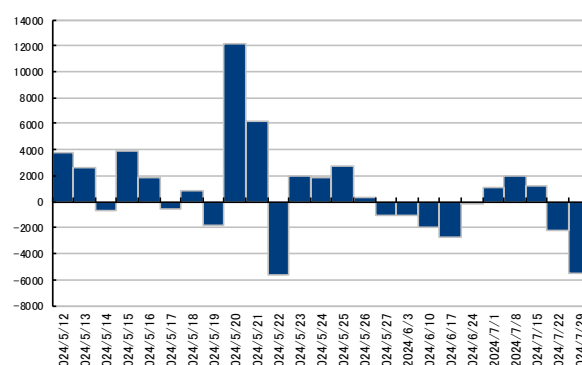
個人

単位: 億円



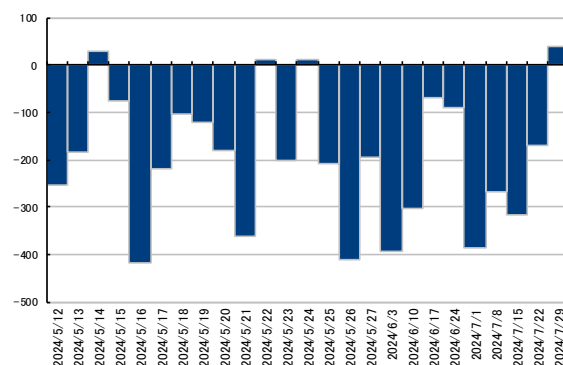
外国人

単位: 億円



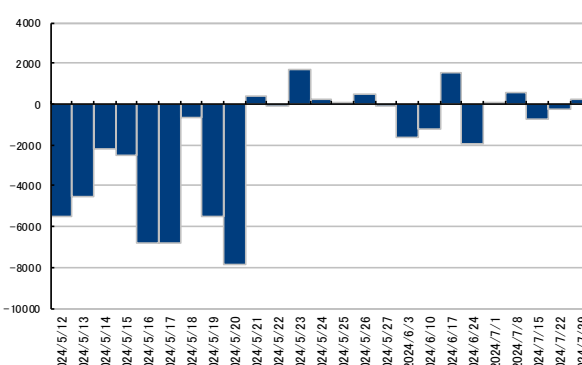
生・損保

単位: 億円



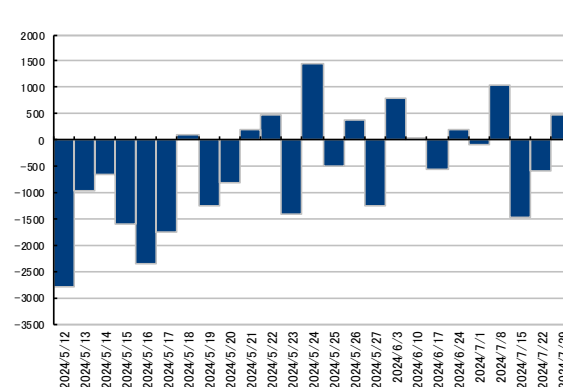
信託銀

単位: 億円



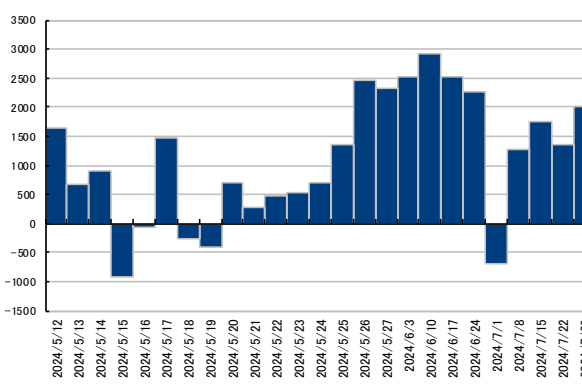
投信

単位: 億円



事業法人

単位: 億円



単位: 億円

現物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	24/04/22	▲439	▲1,921	2,030	▲1,412	543	▲202	▲118	1,707
	24/04/30	▲1,420	▲2,913	1,909	1,446	704	10	309	257
	24/05/07	▲2,522	▲528	2,701	▲499	1,363	▲208	▲248	85
	24/05/13	▲2,153	▲1,093	384	374	2,477	▲412	▲24	492
	24/05/20	▲840	715	▲1,017	▲1,258	2,325	▲196	▲11	▲108
	24/05/27	932	▲865	▲1,102	793	2,514	▲395	▲191	▲1,644
	24/06/03	▲2,280	2,811	▲1,941	15	2,904	▲301	▲90	▲1,250
	24/06/10	▲2,085	975	▲2,694	▲570	2,513	▲70	▲137	1,557
	24/06/17	▲2,557	1,910	▲185	186	2,276	▲91	▲22	▲1,918
	24/06/24	4,141	▲4,722	1,141	▲85	▲681	▲386	▲201	33
	24/07/01	260	▲5,104	1,924	1,032	1,256	▲270	▲284	522
	24/07/08	▲30	▲715	1,258	▲1,463	1,748	▲317	▲106	▲744
	24/07/15	▲300	2,243	▲2,177	▲601	1,369	▲172	▲43	▲257
	24/07/22	▲2,534	4,882	▲5,525	469	2,016	39	8	264
	24/07/29	▲4,355	4,796	▲5,670	3,145	1,394	▲27	132	247

単位: 億円

T O P I X 先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	24/04/22	▲355	▲375	491	313	▲4	▲22	51	▲23
	24/04/30	▲769	844	▲73	19	▲7	▲115	▲161	205
	24/05/07	▲496	▲794	▲1,194	▲144	▲1	41	2,355	210
	24/05/13	776	697	▲1,797	11	▲0	53	33	194
	24/05/20	▲808	▲547	1,137	61	▲0	66	▲70	106
	24/05/27	▲625	▲237	1,040	▲92	5	▲109	56	18
	24/06/03	1,312	388	▲1,367	▲28	▲5	16	▲243	▲110
	24/06/10	850	▲72	▲645	67	7	▲35	181	▲422
	24/06/17	3,416	▲317	▲3,158	▲42	0	11	80	43
	24/06/24	▲3,311	▲95	1,787	180	▲2	▲81	▲48	1,560
	24/07/01	▲1,027	47	2,483	▲488	2	24	▲189	▲831
	24/07/08	2,437	362	4,916	▲1,521	6	398	85	▲6,586
	24/07/15	2,129	78	▲1,327	31	▲15	▲36	▲99	▲759
	24/07/22	2,642	281	▲2,135	326	0	54	▲837	▲250
	24/07/29	3,108	70	▲2,147	▲90	▲0	▲263	757	▲1,452

単位: 億円

日経平均先物	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	24/04/22	▲2,096	▲994	▲692	889	▲48	0	427	977
	24/04/30	▲213	445	▲105	413	▲11	▲7	▲12	▲201
	24/05/07	1,954	▲768	▲2,300	37	▲5	14	821	324
	24/05/13	▲104	914	▲614	▲332	▲20	1	316	▲236
	24/05/20	41	▲387	316	▲546	46	▲10	640	▲352
	24/05/27	▲1,199	▲446	350	513	12	1	386	456
	24/06/03	1,020	339	▲59	▲754	▲2	0	▲262	▲274
	24/06/10	▲2,990	158	3,821	450	▲26	▲94	51	▲1,408
	24/06/17	3,304	▲725	▲3,049	▲15	▲17	0	▲488	956
	24/06/24	1,002	▲578	922	▲387	▲90	0	989	▲1,866
	24/07/01	▲642	▲92	4,223	▲714	▲1	▲109	375	▲3,561
	24/07/08	▲1,129	843	3,879	▲508	8	229	▲982	▲2,576
	24/07/15	1,410	323	▲2,458	292	86	▲15	▲1,258	1,427
	24/07/22	601	1,322	▲5,920	357	178	▲79	▲4	3,576
	24/07/29	1,974	▲257	▲2,226	▲351	▲41	▲100	800	477

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	8/9終値 (円)
オブロ	228A	グロース	8/21	1,240~1,300	564,900	5,100	-	-	SMBC日興	-
事業内容:	帳票に関するデータ最適化ソリューション、サブスクリプションビジネスの販売管理に関するセールスマネジメントソリューションで構成されるクラウドサービス事業									
Cross Eホールディングス	231A	福Q	8/29	-	350,000	350,000	-	-	Jトラスト グローバル	-
事業内容:	ハウステンボスや公共施設等の施設管理および廃棄物焼却炉や資源リサイクル施設等の建設、産業用機械等の設置工事業									

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1835	東鉄工	3100	3014	2872	1882	東亜道	1286	1272	1032
2181	パーソルHD	271	233.25	252.5	2594	キーコーヒー	2085	2071.25	2059.5
2676	高千穂交	3835	3738.75	3309	2678	アスクル	2118	2078.75	1981
3038	神戸物産	4043	3877	3805	3673	ブロードリーフ	654	575	516.5
3678	メディアドゥ	1362	1318	1300.5	3836	アバントG	1718	1391.5	1376.5
4005	住友化	432	348	391	4344	ソースネクスト	193	154	179.5
4613	関ペイント	2470	2390	2144.5	4684	オービック	23585	23318.75	22540
4704	トレンド	7742	7657.25	7207	4968	荒川化学	1090	1066	1051
4985	アース製薬	4760	4525	4690	6078	バリューHR	1508	1412.25	1435.5
6417	SANKYO	1737	1645.25	1482.5	6445	ジャノメ	710	697.25	682.5
6590	芝浦	7330	7113.25	6756.5	6788	日本トリム	3185	3111.5	3162
7202	いすゞ自	2022	1914	1812	7915	NISSHA	1777	1567	1676.5
8114	デサント	4340	3663.75	3800	8511	日証金	1603	1485.5	1327
8803	平和不	3920	3903.75	3907.5	9302	三井倉庫HD	5130	4683.75	4205
9531	東瓦斯	3376	3351.5	3049	9602	東宝	5270	4989.75	5259.5
9663	ナガワ	7380	7282.5	7090	9843	ニトリHD	19715	18938.75	18275

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1301	極洋	3675	3787.5	3745	1885	東亜建	902	1012.5	916.5
1899	福田組	4995	5303.75	5115	1945	東京エネシス	1056	1108.25	1057.5
2004	昭和産	2983	3221.25	2987	2060	フィード・ワン	835	883.5	846
2163	アルトナー	1696	2100.75	1735	2212	山崎パン	2731	3473.25	2837
2266	六甲バター	1320	1358	1374.5	2296	伊藤ハム米久	3710	3977.5	3865
2307	クロスキャット	1075	1103.5	1142.5	2378	ルネサンス	986	1011.75	1011
2502	アサヒ	5197	5514.25	5278	2768	双日	3130	3412.5	3169
2802	味の素	5120	5637.5	5137	2815	アリアケ	4800	4967.5	5002.5
2922	なとり	2020	2087.25	2047	3036	アルコニックス	1331	1351.5	1373.5
3086	Jフロント	1405	1419	1408.5	3156	レスター	2599	2861.5	2654
3402	東レ	719	731.25	753	3458	シーアールイー	1351	1444.25	1383.5
3659	ネクソン	2672	2706.5	2767	3679	じげん	522	527.25	615.5
3696	セレス	1187	1305.5	1261.5	3778	さくら	2481	3528.75	3114
3861	王子HD	563	574	594.5	3941	レンゴー	922	977	946.5
4042	東ソー	1822	1892.25	1829.5	4088	エアウォーター	1872	1990.5	1902
4095	日バーカライ	1100	1175.75	1109	4118	カネカ	3649	3757	3786.5
4183	三井化学	3211	4098.25	3798.5	4202	ダイセル	1216	1368.5	1235
4221	大倉工	2555	2856.25	2583.5	4249	森六	2238	2654	2388
4251	恵和	1266	1280.75	1336	4272	日化薬	1264	1317.75	1285.5
4681	リゾートトラ	2264	2410.25	2319	4694	BML	2737	2816.5	2922
4725	CACHD	1666	1744.25	1699	4765	SBIGAM	597	637	601.5
4997	日農薬	620	656.5	666.5	5101	浜ゴム	3085	3444.75	3158.5
5105	TOYO	1996	2495	2178.5	5108	ブリヂス	5582	6178.25	5832.5
5110	住友ゴム	1390	1648.25	1472.5	5121	藤コンボ	1178	1348.25	1181.5
5142	アキレス	1430	1535	1433.5	5232	住友大阪	3468	3708.5	3861.5
5302	日カーボン	4395	4923.75	4725	5333	日本ガイシ	1777	1818	1845.5
5411	JFE	1843	2217	1992.5	5463	丸一鋼管	3214	3788.5	3414
5471	大同特鋼	1296	1493.5	1360	5703	日軽金HD	1509	1721.25	1595
5713	住友鋁	3642	4237.75	4708	5714	DOWA	4655	5095.5	4785
5821	平河ヒューテ	1297	1342.5	1493.5	5947	リンナイ	3041	3328.25	3211
5970	ジーテクト	1660	1864.75	1712.5	5975	東ブレ	1714	2010.75	1719
5988	パイオラックス	2176	2429.75	2296.5	6013	タクマ	1574	1730	1599.5
6062	チャームケア	1219	1265.75	1227.5	6103	オークマ	5925	6459.75	6474.5
6140	旭ダイヤ	800	857.75	871	6235	オプトラン	1697	1718.75	1974.5
6272	レオン自機	1341	1455.75	1421	6277	ホソミクロン	3530	4253.75	3711.5
6284	ASB機械	4465	4508.75	4525	6302	住友重	3126	3940.5	3711
6330	洋エンジ	659	753.5	685.5	6376	日機装	979	1071.25	1036
6379	レイズネク	1618	1871	1850	6420	フクシマガリ	5000	5227.5	5012.5
6432	竹内製作	3995	4645	4047.5	6490	PILLAR	4205	4858.75	4582.5
6584	三桜工	780	912	846	6592	マブチモーター	2090	2508	2307
6594	ニデック	5821	6157	7025.5	6741	日信号	916	949.5	1036
6750	エレコム	1337	1691.5	1532.5	6849	日本光電	1776	2074	2034
6850	チノー	2214	2217	2243	6856	堀場製	9383	12369.25	11445
6859	エスベック	2324	2444.5	2331.5	6902	デンソー	2109	2389.25	2198.5
6976	太陽誘電	3385	3726.25	3948	6988	日東電	10680	11924.75	11272.5
7004	日立造	886	959.5	926.5	7180	九州FG	712	845.5	736
7245	大同メタル	502	551	533	7250	太平洋工	1303	1391.25	1320.5
7267	ホンダ	1420	1583.25	1443.5	7270	SUBARU	2430	2935.5	2700.5
7272	ヤマハ発	1170	1337.5	1247	7347	マーキュリアHD	712	749.75	764
7389	あいちFG	2385	2440.75	2386	7419	ノジマ	1565	1668.25	1583.5
7483	ドウシシャ	2081	2167.5	2115	7516	コーナン商	3545	3896.25	3615
7628	オーハシテク	1673	1786.25	1696	7717	Vテク	2471	2576	2495
7729	東精密	7060	9064	7682.5	7860	エイベックス	1271	1379.25	1459.5
7972	イトーキ	1179	1668.75	1405	7989	立川プライ	1274	1432.75	1370.5
7994	オカムラ	1770	2155.5	1806	8015	豊田通商	2450	2930.25	2479.5
8035	東エレク	25810	29258.75	25875.5	8052	椿本興	1805	2058.5	1813
8081	カナデン	1339	1489.5	1361.5	8095	アステナHD	479	486.5	481
8101	GSイクレオス	1924	2234.75	2003.5	8103	明和産	650	669	669
8142	トーホー	2610	2977	2847	8159	立花エレ	2412	2962.75	2587.5
8219	青山商	1306	1632	1369.5	8273	イズミ	3368	3661	3489.5
8338	筑波銀行	255	255.75	255.5	8345	岩手銀	2385	2509.75	2463.5
8346	東邦銀	262	293.5	265.5	8366	滋賀銀	3355	3647.5	3411.5
8550	栃木銀	272	314	303	8558	東和銀	612	627.25	613.5
8624	いちよし	666	730.25	678.5	8628	松井証	767	783.5	787.5
8698	マネックスG	614	722.25	650	8860	フジ住宅	699	716.5	711
9075	福山運	3710	3958.75	3787.5	9110	ユナイテッド海	4310	4861.25	4325
9304	沢尻倉	2650	3017.75	2790	9381	エーアイティー	1693	1778.75	1725
9501	東京電力HD	629	750.5	667.5	9502	中部電力	1709	1902.5	1748.5
9513	Jパワー	2333	2419.5	2343	9613	NTTデータ	1899	2091.25	2033
9621	建設技研	4475	5320	4525	9702	アイエスピー	1355	1456	1438
9729	トーカイ	1921	2036.25	1993.5	9948	アークス	2547	2809.5	2581

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	TEL:082-245-5000	三 次 支 店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	TEL:0824-62-3121
今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	TEL:0898-55-8280	可 部 支 店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	TEL:082-815-2600
福 山 支 店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	TEL:084-922-1321	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	TEL:082-277-2700
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	TEL:086-222-1561	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	TEL:082-422-3621
府 中 支 店	〒726-0004 府中市府川町335-1	TEL:0847-45-8500	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	TEL:0829-31-6611
尾 道 支 店	〒722-0035 尾道市土堂2-7-11	TEL:0848-23-8121	岩 国 支 店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	TEL:0827-22-3161
因 島 支 店	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	TEL:0845-22-2291	徳 山 支 店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	TEL:0834-31-5350
竹 原 支 店	〒725-0026 竹原市中央5-5-5	TEL:0846-22-2295	宇 部 支 店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3 ポスティビル3階	TEL:0836-31-1105
三 原 支 店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	TEL:0848-67-6681	萩 支 店	〒758-0027 萩市吉田町51-11	TEL:0838-25-2121
呉 支 店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	TEL:0823-21-6401			

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>
コールセンター(コール取引) フリーアクセス:0120-506-084